京城日報

六月十六日夕刊（朝刊併せて八頁）

◇對露局面展開か
烏拉爾進擊說傳へらる

山梨陸軍次官西伯利視察より歸來後陸軍主腦者は頻に鳩首凝議しつゝあるがオムスク政府援助の政策と相俟ち烏拉爾方面進擊の事となる可きかとの說あり（東京特電）

◇對獨回答交附期

聯合國の獨逸に對する回答は十三日ランツアウ伯に手交さるべし（巴里電報）

◇錢總理辭職公布

錢能訓氏の總理辭職を許可し徐樹錚氏を西北籌邊使に新任する旨十三日大總統令を以て公布されたり（北京電報）

◇後繼內閣略內定
周樹模氏總理とならん

關心派は代理總理に任命されし龔氏に辭意ある爲め未だ大總統令發布の運びに至らず十三日周樹模氏は總統府に至り後繼內閣問題に就き徐總統と密議せるが周氏の總理たるは殆んど決定せるも閣員の顏觸は尚ほ不明なり（北京電報）

◇領事團急を告ぐ
上海排貨運動の擴大せるより

上海領事團は北京外交團に宛て日貨排斥行動が益々擴大し諸外國の利益も共に侵害さるゝ事となりたる爲め其善後策を至急講ぜん事を電請したり（上海電報）

◇投機資金制限
紐育株式界の暴落

六月十日米國聯邦準備局は投機を制限する目的を以て聯邦準備銀行より純粹の商業目的以外に信用貸付金の程度調査を開始せる由公表せし結果株は十乃至十八ポイント方暴落せり棉は昂騰後如上の聯邦準備局の公表と共に下落せり（紐育電報）

◇金の解禁程度

金の解禁は絕對的に輸出自由となれるに非ずして金塊及び金貨を輸出せんとするものは聯邦準備局の特許を要する趣なり（紐育電報）

◇米國の金塊積出

米國は日本に向け百萬弗の金を積送する協約成立せり（紐育電報）

◇國庫證券廿億留
オムスク政府にて發行す

オムスク政府は今般更に短期國庫證券を二十億留發行する事に決定したり右はケレンスキー紙幣流通禁止の結果國庫證券の大部分拂出されたるに由る（哈爾賓電報）

◇新紙幣の發行

大藏省は五十哥の新紙幣を流通せしむる旨公表せり舊五十哥紙幣は依然その儘流通するものとす（哈爾賓電報）

◇上旬對支貿易

六月上旬の對支貿易は輸出一千百十九萬二千圓輸入五百四十七萬圓にて差引出超七千五百九十九萬圓となり一月以降の累計は輸出二億八千四百萬圓輸入一億零八百萬圓なり（東京特電）

◇大連管理局長

南滿洲鐵道大連管理局長は野村中西正副社長就任の初め現鐵道院務局長杉浦宗三郎氏を拔擢せんとせるも鐵道院にて同氏を手放し難き事情あり、東京管理局長木下淑夫氏又健康上謝絕したるが、現監督局長佐竹三吾氏最も呼び聲高し（東京特電）

◎總督快癒登廳

十四日來微恙にて引籠り中なりし長谷川總督は既に全癒し十六日より登廳政務を視たり十七日は午前八時三十分より第二會議室に於ける警務部長會議に臨場し一場の訓示を爲す由

◎植物消毒所新設

大正元年總督府令第四十三號果樹櫻桃檢移入禁止に關する件中改正の件は十七日附官報を以て發布同日施行の筈なるが右は從來檢移入果樹櫻桃に對する官公署の消毒證明中其の効力不確實にして措き難きもの尠からず又害蟲の外、病害あるものも亦禁止の必要あるに依り今後信憑に足る植物檢查所の消毒證又は病害なき旨の證明あるものに限り之れが移入を認め其他は總て稅關に於て檢查消毒の上輸移入を許すことゝし差當り從前の實績に徵して其の移入の最も多き釜山稅關に檢查消毒所を常置する爲今回改正せるものなりと

◎中學規則改正

總督府中學校規則中改正の件は十七日附官報にて發布の筈なるが右は中學校教育の要旨を明かにし中學校の入學資格及び入學者決定の方法を改正せるものなりと

◎警務部長會議
十七日より開會

全鮮憲兵隊長警務部長會議は十七日より三日間兒島警務總長統裁の下に總督府第二會議室に於て每日午前八時半より午後四時迄開會さるべく其日程左の如し
▲十七日午前總督訓示午後諮問事項答申書▲十八日午前諮問事項答申午後部外の指示、注意事項▲十九日前日に同じ

◎陸上運搬具數
七年末の調查

大正七年末に於ける全鮮の陸上運搬具數調查を聞くに自動車二百十六臺、人力車四千八百十一臺、荷車一萬八千二百三十六臺、荷牛車六萬三千二百九十四臺、荷馬車二千六百十四臺、客馬車二百三十一臺合計八萬九千三百九十八臺にして之を前年末に比較する時は自動車に於て九十八台人力車二百六臺、荷車二千五百四十七臺、荷牛車一萬二千二百十九臺、荷馬車百十六臺客馬車十八臺合計一萬五千二百四臺を增加せり斯く諸車の增加せる主なる原因は交通機關漸次整備し運輸の便開けたると逐年產業の振興せるとに伴ひ旅客及び運搬貨物の往來頻繁を加へしに因るものなりと

本紙定價 一箇月七十五錢 廣告料金 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◎電報 近く平調
佐連線復舊

去る卅一日以來佐連間海底線不通の爲め各線とも電報大遲延を見つゝありしが十五日午後八時に至り同線の修理成りたるを以て茲一兩日中には從來停滯電報の一掃と共に平調に復するに至るべしと

◎朝紡敷地解決

朝紡第一工場敷地買收問題は豫定の如く商業會議所側の盡力と一般市民の圓滿なる了解とにより何等の支障なく略解決を見たる由なるが十五日は日曜なるにも拘らず所員は書類其他の整理に多忙を極め十五日同社東京本社に向け其の經過を打電したる由なれば愈々近く建設準備に取り掛るべしと（釜山）

◎水利調查通牒

入澤京畿道第一部長は管內各郡守等に對し水利組合設立調查に關し這回大要左の如き通牒を發せり
水利組合設立調查獎勵に關しては調查費豫算の關係上蒙利面積二千町以上のもの若くは東洋拓殖會社所有地二割以上を有する地域は成るべく關係者に於て調查せしむることに四月十一日附を以て通牒せるが是等大規模の事業に於て多くの調查費を要し測量設計を爲すも適當なる設計を得ざる時又は組合の設立を申請したる際設計變更の爲め調查を要するが如き場合を生ずるときは關係者の損害を多からしめ事業の計畫に顧慮を生ずるやも測る可らず依て民間に於て調查を施行する場合に在りても調查を踏查、測量設計の二段に分ち踏查施行濟の時は測量設計調查著手前に水利組合補助規程第五條の關係書類を添付し總督府の承認を受けしめられたし

◎勞働會議の內容（十）
四月三日在巴里 本社特約員 上田碩三

◎前項の內（二）の農業勞働に對する時間の制限は農業國たる伊國代表の提出せるもので票決の結果多數は得たが三分の二に達せざりし故を以て否決せられた、但し之に反對せる者と雖も農業勞働者に同情なき故でなく提出された草案が餘りに漠然たるの嫌ひあり爲に形式上議和條件中の宣言の一に加ふるには不適當と云ふにあつたので、委員會の報告は特に欲つて居るから、何れ其の整へる形式を以て提出される場合は必ず大多數を以て可決されるものと信ぜられる、尚商船乘組勞働者に關しては特に本條約に附加されたる決議書を以て國際勞働大會の特別會を開いて決する事となつて居る

◎勞働委員會の決議は遂に四月十一日の全員會議に附せられ、英國のバーンス氏の修正動議と共に滿場一致を以て可決された、會議は同日正三時、ケードルセーの大食堂に於て開催、列國新聞通信記者席には特に椅子が與へられて其の數無慮二百名を算した、議長クレマンソー氏は開會を宣すると共に勞頭先づバーンス氏を麾く、蓋し勞働委員會議長ゴンパース氏が既に米國に歸つたから、バ氏が代つて委員會の經過報告をなすのである

◎バ氏は諄々乎、綏々然として、約三十分に亘りて大體の經過を報告し、併せて例の第十九條に附隨する特別條項として左の議定書を追加するの修正案を提議した、曰く

國際勞働會議は『勸告』又は『條約草案』を制定するに當り氣候の狀態及產業組織の發達不充分なるか又は其の他の事情異なるため右の勸告又は條約草案の實施が其の產業に對し實質上の變化を及ぼすが如き國に對しては右に述べたる事情を考慮するを要すべし、斯の如き國情の異なる場合に對し若し適當なる手段の施すべきものあるを信ずる時は特に其の改正方法を指示すべし

◎蓋し之れバーンス氏が特に東洋諸國の事情を斟酌して提議したるもので、之れより先き我が日本代表委員は委員會に於て勞働法規の實施に就いて賛否を云はず專ら日本のため或る種の特例を設けんとし爲めにバーンス氏と協議の結果、右の修正案を待つて、始めて胸を撫でた。

◎當初日本委員の考へは日本のために勞働法規全體の實施を十年間猶豫せんとするにあつた、而も十年と定まつた年限の猶豫は要するに五十步、百步である、謂ふ所の發達不完全なる我が產業組織が、今後十年の後必ず完全に發達するや否やは之を測り知るべからざると等しく、明日にも所謂完全なる發達の域に到達するかも知れない、故に一定の猶豫期間を限るが如きは何れにしても策の得たるものではない、即ちバーンス氏の提議の年限を定めず『當然の考慮を拂ふ』と云ふが如き漠然たる形式を採つたのであらう、兎も角も右の議定書によりて日本代表の目的は大體に於て貫徹されたるものと見るべきもので、只其の末項に於て飽くまで勞働諸國の指令權を留保したのは議定書をして充分の權威を有せしむると共に日本にとりては最も注目すべき字句である

◎金の市價下らん
朝鮮產金界の打擊＝米國金禁輸緩和の影響

▲米國禁金緩和
米國

米國に於る金の禁輸緩和は大藏省並に日本銀行にも入電あり何等疑ふの餘地なきに至れり唯その程度如何に依り米國の金の輸出は特許主義による事に決定したれど然も絕對に特許を與へず全然禁輸の狀態にありしものが今回大に緩和せるに特許主義を執るに至れるものゝ如し別項紐育電報にもある如く今回の金の解禁は絕對的のものに非ずと雖も米國が列強に先んじて金の禁輸緩和を斷行せし所以は金の禁輸に基づく國際的不利乃ち爲替相場の平調を期せんとするを主要理由とし更に金の禁輸を緩和して紐育の金融市場を永久世界の中心市場たらしめんとする目論見も加はり居れる如く又刻下米國の貿易事情は今日金の禁輸を解くも正貨の國外流出甚大なるべしとは想像されず此の事に付事實に於て米國の金の禁輸緩和は解禁と同一程度のものに近しと目せられ居れり

▲金市價の前途

內地の對米貿易は以上の見地より今同米國の禁金緩和を重大問題とし對米爲替相場その他に特殊の變化を來しつゝあるが朝鮮として最も注目を要するは金の市價が米金により動かされざるや云ふ點にあり現に京城に於ける金の市價は一匁六圓十錢見當を唱へ世界公定の五圓を拔く事一圓十錢なるが此の相場は米金の輸入可能なると共に直ちに五圓に返らざるも徐々下押して結局平價に復すべしその低落程度は懸つて米國金禁輸緩和の程度如何にあり今俄にその臆斷を許さゞるも少くもその市價の前途軟弱となり平價に落着く時期の久しからずして來る事は平和來の關係より見るも今日推測して差支なからん

▲採金業者打擊

然らば朝鮮產金界の受くる影響如何時局以來勞銀の昂騰藥品爆藥鐵價その他の暴騰は產金業を著しく壓迫し今日辛うじて作業を繼續しつゝあるは雲山假田遂安等外人經營の金山以外邦人の採掘に係るものは微々として振はず然もその餘喘を保ち得る所以は金の市價が六圓臺を拔き居る點にあるべし此際乃ち勞銀採金材料の必ずしも低落せざるに一方生產品たる金の市價の暴落を來す如き事あらんか實に朝鮮產金界の大打擊と云ふを妨げず近く金の市價が五圓に回復するものと假定せば外人經營の鑛山以外內鮮人の經營は殆ど全部休止の悲運に際會するに非ずや

▲鮮銀買金前途

朝鮮銀行にては米國の禁金緩和と金の市價の前途を豫測しその地金買入れは斷じて市價によらず公定價格を以て繼續し來れるが今後金價平調に復するに至らば殆んど杜絕せる同行の買入れも漸次復活し來らん又朝鮮大金鑛は何れも市價を以て產金の賣買約定を向ふ數箇月に亘り行ひ居れる模樣に付今日俄に金價の暴落を來すも之等先約を有する金山は其間大打擊を受けざるべし買約者の痛手は相當深からん

◎學校組合改規
京城

京城學校組合規約中改正の件は豫て京城府尹より許可申請中の處六月十三日附を以て許可されたり

◎開墾會社命名

馬越恭平、山本條太郎、原富太郎、守屋此助氏等によりて設立計畫中なる開墾會社は其社名を朝鮮開拓株式會社と名稱する事に決せり

◎同業組合認可
忠南

唐津郡の畜產同業組合發起人姜允俊氏外五名より豫て申請中なりし同組合設置認可の件は六月十四日附を以て認可されたり

◎水利組合認可
忠北

堤川郡堤川面邑郊里近藤寬次郎氏外五名より豫て申請中の義林池水利組合設置の件は六月十二日附にて認可されたり

◎軍司令官張宴

宇都宮軍司令官は各道警務部長の滯城中を機とし十八日午後六時より官邸に於て兒島憲兵司令官以下各道警務部長、永保安課長國友警務課長松井衛生課長其他を招待し晚餐會を催すべく軍よりは大野參謀長木村經理石田獸醫林軍醫の各部長出席すべし

◎入澤氏送別會

青島守備軍民政部事務官に榮轉すると內定せる京畿道第一部長入澤重麿氏の送別會は在京官民有志發起の下に十八日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催さるべしと因に出席希望者は京畿道廳官房又は京城府廳庶務課に申込まるべし

成歡と竝川（二）
忠南 桑原綾江

◎同場に於ける馬匹の種類及び頭數左の如し

種類	種牡馬	騸馬	繁殖牝馬	駒	計
純血アラブ	四	二	七	七	二〇
サラブレット	一	一	四	一	七
古	‥	一	六	‥	七
計	五	四	一七	八	三四

◎次に牛豚羊雞舍部を視察す牛は朝鮮種四十五頭シンメンタール種二頭エーアシャー種七頭合計五十四頭にして朝鮮種の內卅頭は附近農家に預託し他は皆全部繁殖用に供せり何れも設備の完全なると飼育方法の徹底せるが爲成績頗る優良なり豚羊雞も亦成績可良にして緬羊は約廿五頭あり何れも飼料豐富にして生育良好なるを認めたり

◎次に場主の住家として朝鮮式家屋を建築中なるが其の構造の宏大なる設備の美妙なる實に驚くべきものあり事務長高津久喜氏の語る所に依れば今日迄に工費約五萬圓を投じたりと各室を通じペチカーを備へ付け室內の裝飾周匝にして他に其類比き處なるべし思ふに場主が斯る廣大なる住家の設備をなすに至りたるは牧場事業の漸次盛大を謀る爲將來多くの期間を當牧場に過ごし又一面には朝鮮古有の美術的建物を永代保存し置くの必要を認めたるに依るものゝ如しと云ふ斯の如き經營を以て數年を經過せば漸次佳良の成績を擧げ必ずや本道附近に於ける畜產改良の中心點たるべきや疑ひを容れざるべし道に於ても牧場と聯絡を計り民間に於ける斯業の改善を計畫するの要ありとす

◎天安郡某氏發に獻策八首を寄せられ又次韻三首を贈らる今同各郡の懇談に於て種々意見あれど調合の飾を披瀝して眞相を說くもの割合に少きを憾みとす某氏の如きは詩作に寓して所懷を述べられたるも其の之を熟讀翫味すれば眞意の在る所を知るに足るべし雜賦の情感謝に堪へず仍つて更に添記す

又次巡視 小坡 散人

玉節會按壯關◦轔車熟路又湖山◦簿書甦退招賢士◦刺史風流半日閑◦

同

忠孝於人冠百行◦綱紀此世有誰明◦官論湖西王事急◦始知今日報君誠◦

同

征旆搖々趁晚晴◦巡同復向錦關城◦長官方得賢勞力◦宣化民間府有聲◦

◎出張辭令
左の通り出張命令ありたり

總督府監獄課長 深澤新一郎 十三日附裁判所監獄事務視察の爲新義州に出張を命ぜらる

總督府技師 永田光之助 十三日附線路檢閱立會の爲十三日附大田太郎釜山に出張を命ぜらる

土木局出張所技師 森 寶太郎 十三日附京城、義州路線改修工事狀況視察の爲沿線各地に出張を命ぜらる

朝川中學校長 福島 赤八 文部省に於て開催の全國中學校長會議に出席の爲十三日附にて東京に出張を命ぜらる

總督附武官 東條 明次 軍事狀況視察の爲十六日附馬山、鎮海、麗水、木浦、群山、大田に出張を命ぜらる

中央試驗所技師 片山 嵩 化學工業狀況視察の爲十六日附にて京都、福岡、東京、仙臺の四市に出張を命ぜらる

人事消息

▲神田長平氏（忠南警務部長）浦尾旅館へ滯在中
▲大橋常三郎氏（慶北警務部長）山本旅館へ滯在中
▲小山田謙氏（江原道警務部長）巴城館へ滯在中
▲安藤猷久氏（湖西銀行部長）十六日朝退城
▲香川縣視察團 十六日朝退城
▲中村精七郎氏、同辰五郎氏（實業家）何れも十六日朝釜山上陸十時の急行にて北行
▲鈴木戒三氏（總督府鐵道局長）公務にて全鮮の狀況視察の爲め各地に出張を命ぜられたるが氏は十七日朝南鮮方面へ出發の筈
▲今村鞆氏（元山府尹）十五日朝入城二三日間滯在の上赴任の由
▲梅山資英氏（滿鐵理事）上京の途十五日朝通過
▲國分司法部長官 平壤に出張中の處十五日夜歸任
▲井戶川平壤旅團長 滯城中の處十五日夜歸任
▲乘井鎭海灣要塞司令官 十七日夜歸任の筈
▲大田三郎氏（鮮銀滿洲總支配人）十五日夜來城當分滯在の豫定
▲片山繁雄氏（鮮銀理事）久しく東上中なるが十七八日頃歸城の旨營業所に通知ありたり

八面鋒

◆米國有力者間には、未だに國際聯盟規約に不贊成を唱ふるものあり、クレマンソー君は若し聯合國にして、獨逸の聯盟加入を承認せば、佛國は斷然退脫すべしと鼓唱き、ロイド、ジョーヂ君やウイルソン君等が、豫め期間を定めんこと、例の妥協を以てクレマンソー君を說得せしめしが如きも、獨逸が果して承知するや否、國際聯盟の何處迄も附きまとふ厄介さよ。

◆兎に角對獨講和條件の性質は、何時の間にやら既に其性質に一變を來せしやの觀ありて、條約の對象物は、獨逸に非ずして寧ろ聯合國自身の中に在るものゝ如し、巴里に於ける四十萬人の同盟罷業は何の爲に行はれつゝあるかを見よ、倫敦に於ける朝野全部の輿論が、如何に其意思を表示しつゝあるかを見よ、更に米國に於ける大仕掛の爆彈騷ぎに考へよ。

◆獨逸に敗戰せる露國は一年ならずして全獨にレニン主義の洗禮を與へ、ブレスト、リトウスク條約を反古とせり、聯合國對獨逸の關係が、前者と同意味に於て名と實とを顚倒したるの觀無きに非ず。

◆獨逸が進退谷まるの日は、即ち自ら其の盾を翻して尖頭を取換ふるの日也、斯くて聯合國の資本的帝國主義に新なる洗禮を與ふるの日也。獨逸はクレマンソー、ロイド、ジョーヂ、ウイルソン等に屈服する事に依つて、既に英米佛伊國の勞働者及知識階級より、絕大の後援を受けつゝあるに非ずや。

◆山田農商務省技師の休職及監事件は、一世を擧げて疑惑の的となれり、前農相仲小路君が之れ外米問題に關する、由々敷一大問題潜伏すべく、農相は直に引責辭職すべしと敎囿けるに對し、小坂農相秘書官は之れを駁して曰く、昨年二月八幡製鐵問題より押川長官の變死を惹起せし際、當時監督の任にありたる仲小路前農相は如何、今日の事を以て農相に辭職を強ふるは、自らを處するに寬にして、人を待つに酷なるもの也と。時節柄山田事件は、一時は火の手の上るを禁じ得ざるべし。

◆徒らに鬱陶しと云ふ勿れ、梅雨青葉に注ぐ處、風情無きにしも非ず、試に軒下酒を引いて雨中に鮮せよ、銀鈴葉末に綴る處、濛乎たる南山を見る、又霧中の景趣たり、詩情自から湧き、眞の風流は這箇の間に存す、豈千金に待つの要あらんや

優等清酒

登錄商標 賀茂鶴

廣島縣西條町 釀造元 賀茂鶴酒造株式會社
京城府鍾路 發賣元 河野酒店 電話二〇一

取扱 確實懇切、地方荷爲替引受、資金融通立替
右多少に不拘御送附願上候 規定書送呈仕候
蠶問屋開始
京城漢江通四番地（電車漢江通兵營前）
東蠶社 電話龍山六四一番

廣告
一 壹等白米現金小賣値段 壹升金四拾貳錢五厘
自今掛賣ハ現金賣値段ヨリ壹升ニ付壹錢高ニ決議仕候
右廣告候也
大正八年六月十七日
京城白米商組合

優秀なる鑄鐵調性劑の大發見

▲鑄鐵界の一大福音

製品の優良と工場の經濟とは共に戰後に於ける鑄鐵界の一大生命也而して此の要求を充すは斯界の重鎭 本社技師長理學士彥坂氏發明の鑄鐵調性劑テンパー也

世界的大發見大發明

●テンパーの威力
一、鑄鐵中に有毒なる酸素の侵入を防止し尚存在するものを排除すると同時に鑄物の「ス」を減却せしめ靱性を增す
二、原料中より硫黃を除去し鑄物をして軟かならしむ
三、鑄鐵中の鎔滓を除去し鑄鐵の強さを增す
四、鑄鐵中の硅素の量を增し鑄鐵の結晶を大ならしめネバリを增し仕上を容易ならしむ
五、熔解狀態に於て湯の熱を上げ尚流動性を增さしむるを以て薄き鑄物の製作を容易ならしむ

定價 一號（大物用）十磅 七圓 二號（小物用）十磅 七圓八十錢

●今や斯界はテンパーの使用に一刻の猶豫を與へず

斯の如く偉大なる効力を有するテンパー一度世に出づるや其驚くべき功績は忽にして各製鐵業者より湧くが如き好評を博し各地よりの注文山をなすの現況なり從來用ひ來りしマンガンやシルコンの類は漸次後を絕ち他の顧みざるに至るや明なり、されば本社は此際時局に鑑み此世界的大發明を公にし一刻も躊躇せず速に御使用あらん事を

▲說明書は御申込次第呈送す 特約店希望の方は御申込次第規定書送る

製造販賣所 東京市京橋區銀座一丁目十二番地 內國殖產株式會社 電話京橋四四四七 振替東京四四四七

◇朝顔さく

○殘酷極まる犯跡 農商務技師の兇行詳報 何うして發覺した？

農商務省技師山田憲が橫濱の米穀商鈴木辨藏を撲殺し五萬圓を奪取したる事は既報の如くなるが今此驚くべき兇行の內容を詳報せんに

漂著した怪しい鞄 首も手足もない屍體現る

六日拂曉新潟縣西蒲原郡地藏堂町牛乳搾取業古澤多作なるもの信濃川沿ひの大河津方面へ牛乳を配達すべく自轉車にて宅を出で歸途午前九時半頃信濃川堤防に差懸るや川の流れ沈床の上に一個の函が漂着し居るより近づき見たるにトランクにして錠もなきものなりしが何となく臭氣甚だしきを以て好奇心に驅られ乍ら鞄を開き見たるに首もなく手足もなく胴體のみの死體なるより大いに驚き直ちに其筋へ屆出でたるを以て大騷ぎとなり新潟地方裁判所よりは長岡檢事判事、中島檢事等出張、信濃川沿岸の各署よりは刑事二十三名現場に出張したるも首もなく兩手兩脚なき屍體の事とて一向に手掛りを得ず取敢ず川村囑託士執刀の下に

解剖に附し 屍體は同日夕刻大河津村役場の手にてビール函に入れ火葬に附せり。右屍體の胴體にはメリヤスの襯衣を著せあり又胴體に數箇所の刀傷あり鞄の中には屍體の動搖を防ぐためか或は臭氣を防止するためか古綿を詰めありたりと云ふ。

慘屍體は鈴木 下手人は山田と判明 書生と力を合せて自宅の二階で兇行

右事件は直ちに其筋より掲載禁止の命令ありたるが一方橫濱に於ては外米輸入事件に關し鈴木辨藏商店に係る不正事件あり延いて六月九日山田農商務技師の收監となりたるが右犯行は實に山田技師の手によつて行はれたるものにして山田技師は鈴木辨藏と密々相談らひ自己が外米輸入上

機密を握 り居るを幸ひ政府筋の機密を鈴木に洩し鈴木より多額の報酬を得つゝありしなり、山田と鈴木とは斯の如き關係にありしを以て鈴木は頻々山田を市外上大崎の邸宅に訪問しつゝありたるものなるが三十日鈴木は百圓紙幣にて五萬圓を懷中し家人の或者に極めて秘密にて山田を訪問することを言ひ殘し外出せり其儘鈴木は家に歸らず一方外米輸入事件に關し鈴木商店は頻々として搜査を受け、而も主人の

行方不明 なるより家人の心配は一方ならず心當りに店員を馳せて行方を搜索する傍ら或は既に收監され居るにあらずやと其の筋に問合す等百方手段を講じたるも更に要領を得ず其中山田技師は六月九日附にて突如休職となり收監の身となりたるが當時山田が此慘事の下手人とは想像せず多分政府の機密を鈴木に洩し鈴木より收賄せる爲なるべしと觀測し居たるも事實は然る輕々しきものにあらずして既に鈴木を慘殺して懷中の

五萬圓を 奪取し其の犯跡を蔽はんが爲めに右の兇行を爲したるものにして長岡へは長岡在地藏堂生れの山田の宅に寄寓せる書生某を遣はしたるもの、如く三十日夜から三十一日の拂曉迄に犯罪を爲したるものなるべし無論此犯罪は山田一人にて爲されたるものにはあらずして山田の家には前記の書生以外に尙ほ二名の書生あり是等は協力して此犯罪を鈴木に對して行ひ而も直に是を外に持出す時は犯罪の發覺する虞あるを以て暫く是れを自宅に匿し置き三日夜頃に持出したるものなるべし

犯罪動機 は五萬圓の現金掠奪以外に或は鈴木の口より自己の收賄犯罪の露はれんことを恐れたるものなるやも知れず又此の犯罪は山田の住宅二階の六疊にて行はれたるものなりと

鞄は自ら捨てた 悽慘の氣人を襲ふ證據品

近に聽く處によれば山田は鈴木を殺害し鮮血淋漓たる屍體を二階六疊の押入中に隱し血管の凝結を待ち初めて首を切り取り兩手、兩足をも切り離したるものにして其切口には繃帶をもて緊結し

出血を防 ぎたり斯くて山田は胴のみを一個のトランクに、兩手、兩足とを更に別々に二個のトランクに入れ自己之を携行し目黑驛より一等の切符を求め新潟縣に向ひたるものにして長岡の實家に歸るや彼は實家に長く使傭したる下男をして信濃川に舟を出さしめ其舟に自身乘込みて携行し來れるトランク三個を積込み信濃川を下りて川口に出で右三個のトランクを投じたるものにして之が潮流の關係上河上へ押し上げられたるものらしく三個とも既に

其筋の手 に拾ひ上げられたりと。而して警視廳へは山田の住宅に屍體を押し込みたる押入れの床板の一部が切り取られ押收されたり、鮮血糊の如くコベリ付き慘憺の氣、人を襲ふものありと又山田は身長五尺七八寸あり柔道は有段者にして如何樣人殺し位は仕兼まじき面構へなりき。（東京）

○佐藤博士快方に向ふ

家人愁眉を開く 一時カンフル注射食塩注射等を試みし重態に陷りたる軍司令部軍醫部長佐藤恒丸博士は其後漸次輕快に向ひ十六日の如きは體溫三十八度に下り脈搏も殆ど平常に復し意識も頗る明瞭となれり今後變化さへ無くば全快を見るべく近親の人々は昨今又愁眉を開けり

僞電報 兇行後鈴木商店へ打つ

山田技師は右の如く屍體をトランクに詰めて信濃川に投ぜしむると共に一面彼の書生は宇都宮、若くは青森等に派して如何にも其あたりに鈴木の旅行し居るが如く裝ふために種々の文句の電報を橫濱なる鈴木商店に發し以て成るべく事件の發覺を遲からしめたるなり。

○實說生さぬ仲 憐れな少女、泣いて悲境を實母に訴ふ

京畿道警務部勤務の警部山下正藏氏から下關警察署に一通の保護願を差出したその保護願に依ると山下氏は先月まで京城本町警察署に勤務してゐたのに京城府南米倉町に住んでゐたその隣に京城郵便局の遞信技手を勤めてゐる志道三介といふ人が住んでゐた、この志道といふ人は

◇大變不幸 な人で之迄に幾度か妻と死に別れ又は生別れして今の妻を迎へたが、今の妻ゆきは志道家に嫁する以前京都市東洞院、松原上る松井多三郎といふ人の妻となり夫婦の間に光子（七）を生んだが、ゆきは元來が蒲柳の質で光子分娩後は

◇永の病氣 をした爲め遂に松井家から離緣となり光子を運れて今の志道家に嫁して以來十餘年の間只だ一人の子供も儲けぬ處より志道氏も光子を實子の如く愛撫し一家睦まじく暮したが光子は松井家の相續人となつた關係上志道氏は松井家から

◇光子取戾 の交渉を受くることゝなつた志道氏は之を拒みなり光子は仕方なく產みの母の手許を離れて久し振に懷しい實父の許に行かねばならぬ譯になつたので今年の二月光子を京都の松井家に歸らせることゝなり光子は實父の許に歸つたが實父の家には生さぬ仲の繼母がゐた、その繼母は

◇光子に辛 く當り散らすので、實父の許に居堪らないと屢々光子は志道氏の許に苦痛を訴へた手紙を寄せたが志道氏はその都度光子に意見の手紙を送つてゐたが近來は實父も繼母と共に光子を苛るやうになつたので、さても京都の父の許では辛棒し切れないから引取つて貰ひたい、若し聞き入れて吳ねば

◇自殺を企 つるとの手紙が來たので志道氏夫婦も萬一のことあつては一大事と引取る旨の手紙を出して置いたといふので光子は何時京都から渡鮮するかも分らないから途中の保護を賴むといふのである、果して無事に光子は京都の松井家から脫れて朝鮮へ渡れるだらうか。（下關）

◎雨季は一層 子供に氣を付けよ 恐ろしい疫痢の原因になる寢冷と食物

朝鮮の雨季は內地より大抵一月位遲れるのを常とするが今年は既に雨季に這入つたもの乎毎日鬱陶しい日が續く、朝鮮の四季を通じて最も患者の多いのは此の雨季の間で死亡率もめつきり殖ゆる殊に本年は京城に

◇發疹窒扶斯 が猖獗を極めてゐるからお互に周到なる注意を拂つて惡疫に罹らぬやうに仕度い傳染病患者を多く出す都市は決して文明の都市として誇る事が出來ぬ、此の雨季の間には恐ろしい下痢患者を多く出す又熱の出る腸胃の病氣も尠くない、之は下痢のあるよりも

◇重症で危險 が多い昨今小さな子供が多く死ぬのも大抵腸胃の病氣である、原因は大抵寢冷と食物とである、寢冷の方は一寸考へると暖かくなれば風邪を引かない筈のやうであるが事實は全くそれに反して却つて寒い時よりも此の時期に於て腸胃に罹り易い大人は氣候の變化に應じて自分の

◇着物を加減 するが子供は著せられた儘著せられた儘こうする事も知らないから保護者は餘程氣を付けて多少溫度の相違が起つても大丈夫にして置かなければならぬ、寢冷知らずの衞生寢卷のやうなものを著せるが良い、手足などは少し位出して構はぬが、胴、臍、即ち胸や腹の部分は

◇よく包んで 夜中に轉げ出しても別條のないやうにして置かなければならぬ、次に衣服を度々取かへて殊に肌につくものに清潔に仕なければならぬ衣服が汚れてゐると、どうしても風邪を引き易い、之れを媒介として腸胃の病氣に罹り易いのであるから衣服の

◇日光消毒 も必要な事は云ふ迄も無い、食物は食器と同樣

◇品物を選んで 分量を制限し、規則正しくやると云ふ事は常の時よりも以上に此時期に於て注意を要する昨今本町通りの水菓子屋の店頭を彩るものに枇杷や大分菓物が店頭を飾り出したが、兎角斯うしたものは子供の欲しがるもの李、梅、桃、杏、巴旦杏、

◇櫻んぼの類 は成る可く與へぬやうにし咽喉が乾くからとてサイダーシトロンの類を與へることは恐るべき疫痢を誘因する基となる、子供を持つ親が此の雨期中を餘程注意しないと、可愛い子に死に別れると云ふ悲劇を見なければなるまい

○全市の人氣沸騰す 明日の髮結競技大會 月桂冠は誰に落ちる

本社主催の京城女髮結競技大會は婦人方に取つて直接關係の深い趣味ある企てなので婦人界では寄ると觸ると其話で持ち切つて居る上に競技參加に決定した百餘名と云ふ組合員の殆ど全員が夫々得意先に出掛けて油をかけるので人氣は

◇一層沸騰 して素晴らしい景氣である或婦人連の如きは是が非でも自分出入の髮結に月桂冠を得させ度いものだと力んで居る位だから十七日の大會々場は相當觀覽者で定めて賑ふ事であらう一方組合では當日の競技審査員や相談役を定める爲め十四日夜會合協議の結果村野しげ山本つき野田しんの三名を

◇審査員に 選定し尙相談役に田中なを、隣下つるの兩人を擧げた時日は社告の通り十七日午前十時から午後五時迄場所は本町一丁目の京樂館である競技の方法は競技出席者百餘名を十人一組として十組に分け一組宛競技をするので丸髷は廿分以內島田髷は廿五分以內櫛卷髮が十五分以內ハイカラが十分以內で競技の結果

◇形が好く て一等早いものを一等として以下五等迄賞品を授與する事となつて居る因に觀覽は隨意であるからドシ〳〵來場せられ度い

◎質屋の聯合會 全鮮の質屋を糾合して 目下計畫中

京城質屋組合では其業務の統一を圖る爲め全鮮質屋組合聯合會を組織せんとの議がある聞く所によると京城中で質屋組合の會員が約八十名ばかりで之を全鮮に積つて見ると六百餘名に上るさうである勿論之は內地人丈けで朝鮮人の質屋營業者は加算してない此聯合會組織の議は京城では一人の異議者もなく皆大贊成ださうで近く地方に檄を飛ばし其代表者を京城に集めて來る二十日頃朝鮮ホテルに會合して關係者其他を招待し質屋組合聯合會組織に關する下打合せを爲すと云ふことである

○晋州の大賭博 一夜數千圓を爭ふ

近來晋州に於ける內鮮人間に賭博盛んに行はれ一夜數千圓を爭ふ大勝負をなし爲に資產を蕩盡するものすらあり過般鮮人富豪十數名檢擧されしにも拘らず尙ほ盛に日夜勝負に耽りつゝある狀態にて風紀の紊亂は言語に絕し一般に一網打盡其筋の嚴罰を希望しつゝあり（晋州）

ゆかたデー
六月 十三日 十二日 二日間
晝夜共開催卽賣致候
京城日報社代理部

○指輪で詐欺

京城府蓬萊町三丁目九十六番地金昌桂方雜貨行商慶尙北道生朴性一（三七）は本年五月上旬より水原安城烏山地方の各市場に於て鍍金に鍍銀したる價格十六錢乃至十八錢位の指輪一組二個を銀製指輪なりと詐り一組一圓八十錢乃至四圓に賣り不正の利を貪り居たる事龍山憲兵分隊の探知する處となり十三日龍山靑葉町を同人が通行中を逮捕目下取調中なるが被害者は五十名以上ありと

○散々毆つた 上に蹴殺す

平北義州郡光城面柳草洞八統六戶朴在學（五七）は先般批峴面峰洞朴在居方に到り同人と喧嘩し散々毆打したる上蹴殺したる事發覺し批峴駐在所に逮捕せられ新義州署に引致の上目下殺人罪として嚴重取調べ中なりと（新義州）

○白米値上げ 十七日から五厘

京城小賣白米商組合にては十七日より小賣白米五厘値上げを實行することゝなりたるが商從來掛賣は無條件なりしを今後は一升に付一錢高と爲すべく決議せり

○釜山の大相撲 二日目の盛況

京阪合併大相撲の二日目は朝から曇り模樣觀客は雲行を危みながらも櫓太鼓の鳴り初める五時頃から相撲小屋を目掛けて轢々と押し掛ける一時頃には早や場內立錐の餘地なき大入三十分の後には其數五千餘人と註せられ忽ち札止めと云ふ釜山未曾有の大盛況を呈した取組の進むに伴れて觀客は次第に熱狂し釜山名物の

相撲藝者 秀勇など姫御前のあられもない、東棧敷に突つ立ち上がり金切聲を張上げて盛んに振れ〳〵やらかす、喧嘩が稍發的に幾組となく起り其度每に觀客は總立ちとなつて喚き立てるイヤ早大變な騷ぎである二時頃からボツリ〳〵と降り出したが熱狂し切つた見物は誰一人として氣に止めるものもない本社支局の

▲好み相撲 鳥海と逹の矢は殊々に人氣を喚んで逹の矢が鳥海を負かした時など場內總立ちとなり小屋も割れんばかりに喧呷を極めた、前日預かりになつた釜山日報の懸賞盃相撲は常の取組は新進氣鋭の好力士、朝日山は何んと言つても大阪方の重鎭この化と朝日山によつて繰返された、

▲興味を以 て迎へられたが常の巧者な取口が効を奏し銀盃は首尾好く常の手に落ちた引續いて日本麥酒其他のお好み相撲があつたが兩瀨と綾錦、釋迦に若常陸、福柳に大門岩等の取組は何れも觀客を唸せた打出し四時半（釜山）

▼馬山へ向ふ 十六日の釜山合併大相撲三日目は朝來降雨の爲め休場の豫定なりしも九時頃に至り雨霽れたれば引續き興行することゝなれり尙大相撲一行は本日を以て釜山を打揚げ直ちに馬山に赴き同地にて一日間興行夫より大邱大田群山（各二日間の豫定）各地を巡業し京城に入る筈（釜山特電）

◎鮮童汽車に轢かる

十五日午前十一時半頃大田發大邱行列車が大邱洞大邱間運轉中突然十二三歲位の鮮人小兒が線路を橫切らむとして機關車に觸れ頭部其他胸部等に打撲傷を受けたるを以て直に該列車を驛止め收容し大邱著の上鐵道醫の假り手當を受けしめ身柄を警官に引渡したるが生命危篤なりと

◎龍中愈々移轉

市內貞洞の假校舍に於て授業中であつた龍山中學校は三坂通りに新築中の校舍が此程落成を告げたので校職員總出にて多數の人夫を使役し十四日の土曜日と十五の日曜日を利用して假校舍から新校舍へと移轉を了し十六日からは木の香新しい新校舍で授業を開始した尙ほ現在の明治町の同校寄宿舍は同校寄宿舍落成式迄其儘として置く由

灯ともし

昨今鮮人成金が豪奢を極める事甚だしく每夜自動車に妓生を擁して漢江の畔に遊び歸途は大抵八景園に登樓して散財する▲一しきり寂れてゐた八景園も此頃では大賑ひで多い時には千圓近い時でも五六百の收入があるとやら▲久保京城管理局長が二十二歲で高等文官試驗に合格したとは先頃灯ともし頃の噂であつたが總督府の生田商工課長も二十二歲の時高等文官試驗に優等で合格したさうだ▲重參謀後藤大尉の令夫人は亞井少將の愛孃であるが才識爽かな點が高い▲其白牡丹に似た艶やかな姿は後藤大尉の前任地旅順では大評判で若い將校から羨望の的なつたものである

○元山野球試合

元山野球界も近來非常な隆盛となつて昨年の如きは外人團と火花を散らした接戰をやつた程であるが……左の通りであらう

井上 井森 原 山谷 野田 原 出 多
人團 岸村 富古 梅本 梶 波 角 寺 織

○連絡船上陸客

十五日午前入港高麗丸一二等客 一等（七名）片岡綠利助、伊藤忠雄、中島勝次郎、井上興夫、外人二名、……彥、丁秀泰、茂申圭三、濱津吉三郎、同リカ、福島萬次郎、齋藤秀時、菅原フデヨ、谷口フシノ、植林多助、同要、近藤脩、石井喩一、松本逹、同よ、小田保正、片山直治、尾山花子、荒川かつ、同こう、高木つや、同博、伊藤開一、田中運太郎、三等二百五十一名

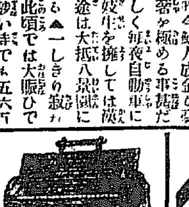
十五日午後入港新羅丸上陸客氏名……上きく、男爵院、吉田運太郎、……榮二、安井武夫、水口宗吉、中村增次郎、八木幸次郎、大里由之助、美松君、高柳誠一、飯島知守平、鈴木紳輔、諏訪米吉、吉村甚吉、金永相

天氣

曇但少雨 ▼京城氣溫▲ [illegible]

京阪合併 讀者優待木戶割引券 普通料金 四十錢 割引料金 廿五錢 京城日報

◎南滿洲＝朝鮮行＝貨物に就て？ ▽名古屋發＝鐵道連絡扱△
弊社は揭題貨物を明治四十三年以來取扱致居候間十分の經驗を有し候名古屋よりは約四割引の特別運賃にて運送仕り候現在名古屋驛發送貨の九割強は弊社の取扱に屬するは偏に各位の御同情の賜と奉感謝候尙將來倍々御懇親切に取扱仕候間不相變御出荷の程伏て御願上候
名古屋驛前 貨物運送通關取扱業 運搬合資會社鮮滿部
電話（長本局三三三番 長本局五八〇六番 本局三三〇七番） 電信略號（○ハン）



樂器と蓄音器は
京城本町一丁目（電氣會社前） 山葉樂器朝鮮代理店
販賣元 山口樂器店 振替京城五二二五番

雨期に入る!!
レーンコート（雨外套）二十五圓以上
米國製 オーバー、シユース 黑小供 白ズツク 小供 ゴム靴 小供靴 入荷仕候
京城本町 塚谷洋品店 京城出張店
保稅品入荷 米國ジレツト會社製安全剃刀用 替刃（ブレート） 地方御注文は送料實費申受候

淋病新藥
＝純國產にして品質効力輸入藥に勝る＝
コンロール
第一明治病院に於て醫學博士が本品試用患者二十五名に付左の治療成績を示せり（但し後るゝものは主として患者の不攝生による）
全治したるもの 十七名
殆ど全癒 七名
疼痛全く去りて時に僅少の漏膿ある者 一名
■全國各地有名藥店にあり■
代理店 藤澤友吉商店 大阪道修町

れる筈である鮮人側も侮るべからざるものと聞くから兩軍の陣容は

鮮人側　金、李、金、東、朴、朴、蔡、朴、李

作、横山圭一、佐藤造一、尾熊三郎、内野龜吉、中川彌八、同島さし、同光、同大男、……、はつ、木下柳二、小田コウ、三上哲、同なを、同光夫、上山みつ、中庭き、成枝永、石塚きみ、同伊右エ門、村

第一版

滿洲遠邇

拙者の料理觀

其れは松鶴軒と云ふ支那料理店であつた支那料理に就て通じない拙者が餘計な事を云つたつて恐らく充分な説明も出來まい元來料理の説明なんて云ふものは其の道の達人が説明しても料理を食ふ程其の調子が分るものではない譬へば料理の本を十巻讀ますより一切れ刺身を食はして見給へハゝア此魚は何で此醤油は彼れだナ位の事は分るが而し支那料理は實際美味拙者は世界中の料理として何處の料理が一番料理として最も可なるものであるかと問ふ人があつたなら支那料理だと答ふるに違ひない最も拙者は亞弗利加料理や南洋料理は知らぬけれど蓋し流石は歴史の舊い國丈あつて料理も却々研究せられて居る日本料理なんか料理としては單純なもので幾ら何威張つたつて支那料理には及ばぬ支那料理は實際食ふべき料理であつて日本料理は目を樂ます見るべき料理である紹興酒に氷砂糖を混ぜて陶然と醉つた熱湯で絞つた手の痛い程暑いタオルで顔を拭いた時の心地などは鳥渡日本料理では味はへないと恐ろしく支那料理の肩を持つた處で御馳走になつたからと云ふのではない美味々々と云つて食つたら其れも其の筈此家の料理は日本人に向く樣に出來て居る即ち日本人が行くと番頭さん氣を利かせて日本人向の料理を造らする處は却々仮け目がないが一方から考へると此家が特に日本人向のを造ると云ふのは日本人の多く行くと云ふ事を證明する事になる日本人の多く行くと云ふ事は日本人の勢力になる料理屋に勢力を造るの餘り褒めた事ではないが兎に角日本人が多く此處に行く、行く丈けの餘裕のある日本人が多く居ると云ふのは日本人が活動して居ると云ふ事の一般を窺ふ事にもならまいかと妙な事を考へた食卓を囲むで居る一人に拙者と同縣の人が居た此の人は曾てセミョノフの義勇兵に應募して行つて居たと云ふので當時の話も聞いた腹が一杯になつたら人間と云ふものは妙なもので動くのが大儀になる誰れも其うと見ゑて食事が濟んでも皆煙草を吹かせつゝ、無言で居る殊に拙者の如きは衣食足つて禮節を知る處は通り越して酒足つて醒夢頻に催すと云ふ譯にも行かぬサア馬車で好い心地に眠りつゝ歸らうヤア之れは御馳走になりましたと松鶴軒を出て橋本君等と分れて又馬車を駆る途中賑やかな葬式に出逢つた其れが聖公會式であつたからハゝア此處にも基督教が盛んだなと思ひつゝ逐ひ超す時其儀仗になつて居る、豚の大きいのには驚いたア、彼れを食つたら美味からうと新田君が云ふ、コレ〳〵千松は腹が減つてもひもじうないと云つたさもしい事を云ふのぢやない

圖　初夏　石田富造筆

大連より

◎大連埠頭怪火と長春滿鐵倉庫の大火とは其の間に勿論何等の關係連絡あるものに非ざる可きも其の發火原因不明なる事と屢次の火災に一般荷主に不安を抱かしむる點に於て同一なり大連埠頭の怪火漸く間遠くなりて怪火の沿線に擴がりたるも一つの不思議と云ふべき也◎傳ふる處に依れば滿鐵會社は積年の弊習甚だしきものあり其腐敗自然に内部より火を發せざるを得ざる状態に在り幸ひ内容の醜陋未だ大いに曝露せざるに當り幹部の交迭あり僅小不善の徒或は惜伏し或は表を正し本社方面は幸ひ小康を保ち居るも沿線各地に在ては未だ新の波動行き渡らず上下交々私利を營み下級者の怨嗟甚だしきものありと

○長春倉庫の火災は原因の何なるか勿論知るに由なしと雖も當事者の怠慢不注意が因を作し此莫大の損害を荷主に與へたるは事實なり滿鐵會社が三十萬圓の見舞金を支出したる當然の責にして恩惠的口吻を洩すが如きは當らざる事なり◎それは兎に角斯くの如く各地に於て時々原因不明の火災を起し荷主に恐慌を與へるは甚だ不都合なり滿鐵は一方罹災荷主に見舞金と稱する辨償を厚くすると同時に一面に於て相當の費用を投じ沿線各地に於ける重要なる荷物の集散地の倉庫及び野積所を警戒し火災の原因に付きては極力之れを闡明にし一般荷主の不安を除去するに勉むべし○而して滿鐵幹部が更に善く内に顧みて之等禍根の有無に注意を拂ふの要あるべし本社に於ける用度課及び地方課貸下等に關する諸般の交涉土地經緯せる不良網を迦りて見れば蓋し思ひ半ばに過ぐるものあるべし

◎滿鐵理事改野耕三氏突然辭職を決し數日ならずして理事樺山資英氏又改野氏の歸東に先立つて急遽歸東し又新任ざるの色を示せり此の他滿鐵舊理事中川上俊彦氏亦辭表を提出し吉會鐵道借款問題の一段落を告ぐると共に勇退する旨の言明を爲したりと傳へられ此他猶村井地方、山田文書、木戸地質の各課長辭意ありとの事にて滿鐵本社に一種不安動搖の空氣漲溢せるは蔽ふ可からざる事實なり◎據に關東都督府官制及び滿鐵の改革され中村都督國澤滿鐵理事長の廢官職となりたる當時滿鐵内部に大動搖あるべしと一般に觀測せられたるも舊滿鐵幹部中に國澤氏と進退を共にせんとしたる者一人もなく何れも政府當局の新首腦を信じて其の地位の安定と永續を得るものとして悠然居たるも如何にせん新しき酒は古き革嚢に盛るを潔しとせず、古衣は新衣の中に不似合なる如く新舊者の間に元より相合致せざるものありし、原、野村、山田理事の相踵いで辭し東京に去り亦止むを得ざる次第なり◎改野理事及び其他の辭意を洩せる何の爲め又如何なる者と雖もその進退を共にするを快とせず故に國澤氏等の爲めに殉ずる氣慨を表せし良き時代に轉殘留せるのみ辭任は職制改革に撃く時にあらず同時に決心せるなりとうも人は斯くの如く説く者はより出でたるを聞かず滿洲を去りたる國澤氏に對しても同情を以て新に辭去すると同樣の同情を以て滿洲の事は永く地方部長として沿線各地の教育衛生各種の行政事務に當り地方部の要及び鐵道從業員の爲めに盡したる功績と没すべからざるもの有り又樺山理事は嘗て撫順炭坑、鞍山製鐵所長として其經營上偉大なる事業成功せし滿鐵繼承後に於ては元より一般社員も亦認め忘れ得ざる處◎吾人は滿洲の二理事の辭去を惜まざるを得ず◎吾人滿鐵内部の動搖に鑑み新幹部に警を寄せんとす今後課長以下人を任用するに際して手腕人格を主とし政黨其他の縁故を抜いて登用する如き私的關係を避け幹部交迭の際に於て實務に當る課長級まで動搖を及ぼすが如き事なき樣變ふべきなり前理事長又は理事は滿鐵社員の爲め揣家の爲めに其の事の特別縁故に因り援用進せ來る社員の多き丈け夫れ丈け幹部交迭に際し内部の無能曝露さるゝ共に動搖不安甚だしきものあり深く誠むべき事なるべし（十三日）

歐洲直輸 近々頻々たり

◎滿大豆、豆粕の

從來滿洲特産即ち大豆、豆油等の歐米地に仕向けらるゝものは多くは一度香港、上海、神戸、横濱等に輸出し更に轉輸出せられありて直輸出は其半數にも充たざる有樣なりしも、近來船腹の餘裕生じ來ると共に歐洲筋の大豆豆油の需用頓に喚起し、直輸出の機運を促し來り此程は巨船海久丸（一萬千噸）は大豆を滿載して出航し、又近く隆福丸（五千噸）は豆油を積みて、歐洲に向はんとする等近時歐洲筋直輸出漸増し來れり（大連）

◎糖業者陳情 改正運賃打撃

滿洲にて滿鐵改正運賃の爲め苦痛を感ずるは、獨り滿洲特産商のみにあらずして、輸入糖業者等も亦其の實施の曉には其苦痛到底堪へ得べからずして、營業基礎の動搖を免る能はずとなし、大連糖商聯合會は十一日附を以て陳情書を滿鐵會社に提出せり、其の大要を摘記すれば、日露役前の滿洲輸移入糖は年額四五十萬擔の南支那赤糖を除く外、殆ど營口輸入の外糖の左右する所なりしが日露役後、日本糖の滿洲進出を試むるや、爾來外糖との間に熾烈なる競爭ありたるが、日本糖の苦闘克く地歩を占め現在の販路を獲得したるがこれ當業者の堅忍努力に因ると共に滿鐵會社海港特定運賃率の庇護を蒙る事多大なりしなり、爾來營口の商情、殷賑と稱すべからざるものありしが、糖業界に於ては何等不況を認めず、殊に盟主太古洋行の如き自家船舶及び倉庫を有して、常に我大連日本糖と併行、過去十有餘年の輸入數量均等の狀勢にあり尚太古洋行の如きは遼西東蒙一帶の背後市場及び滿鐵沿線に及ぼし更に餘力北滿方面に伸びんとするの盛況にありて、動もすれば大連由日本糖を牽制せんとするの現狀にあり、此時に當つて新運賃實施に依り宜しく會社の考慮を煩はし度き旨陳情する處ありたり（大連）

◎實業校（四平街）東省實業公司の事業として實業校なるもの各地に設けられ居たるが公司の方針として四平街實業校は一時閉鎖する事となり主任者藤村鶴雲氏は浦鹽富士製粉に轉勤し十三日に出發したるが同校は全然閉鎖するや又は臨時事務員を派遣するや未定なりと云ふ

◎滿洲と鮮人の農業

東拓滿洲駐在理事　川上常郎氏談

東拓滿洲駐在理事川上常郎氏は十二日大連に來り十三日歸北せるが其車中談に曰く（大連）、

東拓の滿蒙對策の變更と云ふ事に就き大分世間の議論が有つたやうだが東拓として滿洲に對しては豫定通りの事業を著々進行せしめるのみで之れを積極的と云へば積極的と稱すべく始めから別に消極と云ふが如く事業計畫の上に消長があつた譯ではない西伯利方面及び山東方面に於ても滿洲と同樣會社の資金が圓滑に消化され其の結果が日支人の福利を增進する事となれば何處までも進んで各種の事業に投資したいと考へて居る併し滿洲に於ける今後の經營施設は却々の大事業で長い歳月と莫大なる資本を投下しなければ各種の事業は其の緒に就かない譯である特に滿洲に來住する

朝鮮人の保護誘掖

は東拓として最も注意を拂ふ點であつて之れを一言にして蔽せば朝鮮人の滿洲殖民問題が根本的に解決されなければ朝鮮の領有問題も亦それだけ未解決の問題を殘して居る譯である予は長く平安北道の長官として鴨綠江、江左の朝鮮人が江越をして支那領土に入りて耕作して居る狀況を仔細に調査し又は越耕問題の解決に就ても相當に面倒な經驗を持つて居るが其の當時が既に屢ば政府當局に對し

滿洲移住朝鮮人に

鮮人の保護策をも考へて居つた滿洲移住朝鮮人に對する貸出は殆ど行はれて居らないが將來朝鮮人の移住部落でも組織して其の團體又は相當の責任者に對して資金の貸出を行ふ事にしたいと考へて居るそれと同時に水利事業土地整理等は今後多少の歳月を經て支那人

又は支那官憲とも

近來朝鮮人の滿洲移住者も々增加する傾向があるを以て彼等の安寧利益を保護すると云ふ事は極めて重要なる問題である予は今回滿洲駐在を命ぜられたるを以て從つて斯る問題に就きても直接關係を有する事となつた故是非共自分の永くの經營として移住朝鮮人には相當の理解を遂げた上でなければ投資する事は能きないが移住鮮人の自覺と我官憲又は墾拓の後援等に俟つて或は其の時期の案外速かに來ないのでも無い土地商租承認問題なども此れを法理の上から爭へば何時まで經つても

水掛論で結末は

付かないが之れは實際で行くより外は仕方が無い實地に於て鮮人が努力經營し我が資本が之れに投じられて居る以上何んと云つても承認する外に仕方があるまいと思ふ予は商租問題を先に片付けてかゝると云ふやうな事ではとても滿洲の農業は近き將來に何等の進展を見る事が能きなからうと考へる

◎四平街の祭典 三日間の賑ひ

四平街神社々殿竣工につき鎮座祭を十四日十五兩日執行せるが十四日は午後一時より假奉安所たる小學校より嚴粛なる行列にて新社殿に移し鎮座式を行ひ十五日は午前十時より本祭典執行し餘興は十四日午後二時より神社境内にて宮角力、手踊、芝居十五日は四平街驛の神樂隊を先頭として消防組の梯子王に一戸一人の假装行列市中を練り廻り擊劍劍舞等あり十六日は日本赤十字社四平街支部總會開催につき午前十時より日支社員及び來賓等六百餘名を招待し畢式後祝宴を開き餘興として午後二時より芝居手踊等の催しありたるが何分三日間に涉る賑ひは此の地に未曾有の事なり（四平街）

◎阿片の取締 ◆吸飲者に健康診斷を

大連民政署にては阿片害の漸減方針の下に管内阿片特許小賣店五十八名を衞生課に召集し今後阿片販賣に就て規定の數を超ゆることを嚴禁し、違反者は容赦なく特許を取上ぐると共に科料に處する旨を申渡し、又一方阿片喫飲者に出頭せしめ、健康診斷を行ひたる末其狀態に應じて適當の喫飲料を定め分量及び價額を記入して特許店より購求すべき通牒を下附し定められし以上決して喫飲せざる樣諭示する處ありたり（大連）

◎四平街鮮銀支店　朝鮮銀行四平街支店新築は愈々實行せらるゝ事となり本館建築は志岐組にて金十萬餘圓にて請負ふ事となり目下基礎工事中なるが建坪數は本館一五四坪八八、上一一九坪、地下室八坪八一、外に倉庫三五坪、社宅七〇坪、車庫一一九坪、供待及び馬車置場二五坪、新倉庫一四坪四、支店長社宅七〇坪等なりと云ふ（四平街）

◎阿片癮者（大連）　既報の如く大連民政署にては阿片害漸滅の目的を以て去る十一日以來市内阿片癮者を民政署衞生課に出頭せしめ健康診斷の上適量を定め、之れを記入せる通帳を下附し居れるが、此の癮者と稱する者大連市内のみに於て實に五千名以上ある見込みなりと

◎廢物より生める 府の新しき財源

清津府廳にては昨冬より本春に掛けての白豆輸移の最盛期に於て税關構内に散亂せる零れ豆を税關と交涉の上拾收しつゝありしが其總石數は實に二百七十七石餘の多額に達したる由なり而して拾得せる零れ豆は鮮人等にて混入せる土砂を除去せしめ數日間乾燥の上之れを上中下の三等に區分の五斗入れとなし上品五圓中品四圓下品三圓にて賣却せるが此の收支決算は收入白豆賣却代千三百二十圓支出人夫賃其他包裝用として五百三十七圓差引七百八十三圓の殘金を得たるが右金は府の物産陳列場新築費の一部に充つる事となれりと

胡馬越鳥

此頃滿洲の朝鮮紳士も却々盛んに成つた關東廳の方には林長官を始め立花司令官、中野參謀長、警務課長、大連民政署長湯淺部長、倉知屋氏と云つた處▲民間として長く此方面に住んで居る朝鮮銀行東拓は云ふ迄もなく官吏家側にも齋藤久太郎氏有賀定吉氏志岐組の中村與資平氏などが皆んな盛んにやつて居る▲一昨年頃は振はなかつた滿洲殖產會社なども近來は成績頗る良好だと云ふ事だ▲大連では十三日の夜大和ホテルで之等の朝鮮縁故者が會合して親睦會を開いた▲勿論今の處此の會合は別に六つケ敷い意味を含んだものではないただ半島を經て大陸に進出した進取黨の一社交倶樂部に過ぎぬ▲これから春秋二回位に懇親會を開く事にしたが將來は一歩を進めて朝鮮滿洲等の各種の問題の研究を爲し母國の人々に對して其の研究の結果を提供すると云ふやうな事をしてもい▲何と云つても朝鮮と滿洲の間は接離す可らざる關係を有するを以て朝鮮を解し滿洲を知れる人々の此の種の會合は極めて有要なる事であらう（大連）

商況

株式

◎東京株式（至急報）

銘柄	十六日前場寄付	前日比較
東株	三三二、八〇	……
同新	三一四、〇〇	……
滿鐵	一六〇、〇〇	……
一新	一三七、五〇	……
二新	一〇一、九〇	……
滿糖	……	……

◎大阪株式（至急報）

銘柄	十六日前場寄付	後場寄付
大株	三五四、九〇	……
同新	三五九、七〇	……
日郵	二八〇、九〇	……
同新	一三六、九〇	……
商船	一八五、三〇	……
同新	一三三、七〇	……
東紡	二六三、九〇	……
東糖	一五二、一〇	……
堂米	……	……
上取	五二、〇〇	……

◎京城現株（標準値段）

銘柄	拂込額	現相場（▲印騰貴 △印下落）
仁取	二五、〇〇	▲一〇三、〇〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	一九六、〇〇
同新	五〇、〇〇	一四七、〇〇
東拓	五〇、〇〇	八六、〇〇
同新	一二、五〇	四四、五〇
殖銀	二〇、〇〇	五〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇
滿鐵	一〇〇、〇〇	一六三、〇〇
第一	六〇、〇〇	一三九、五〇
第二	五〇、〇〇	一〇三、五〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二〇、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	二〇、〇〇
朝紙	一二、五〇	二八、〇〇
商銀	五〇、〇〇	六一、〇〇
滿毛	一二、五〇	二九、〇〇
鮮煙	二〇、〇〇	二二、五〇

傾向ありて一般に新規仕掛けを躊躇せる折柄何となく活氣に乏しき氣味合ひを免れざるも然もソレだけ却つて買方に玉仕込みを容易ならしむる便宜あるを以て最近の商勢は或る一部の株式にのみ人氣を偏めて他の之れと同歩調を取らざる場合にも人氣に障りなき實例を示したるに想到すれば單に右の傾向のみを以て同株買を懸念するは鳥渡考へ物と云はゞ云ふべく殊に實質の良好にして一般向きの資格を有せる事と其採算關係は優に買根據を有するものと見て差閊へなく將た東京市場に於ける商勢の全然改まれる點は特に強氣の狙ひ處なりと云ふ

▲仁取先高見越　仁取株も地方筋の高値買進みに刺戟されて二三日來再び擡頭し始め三圓となり四圓となり昨日よりは五圓も手持筋は先高見越しに容易に賣應ぜず殊に來月一日より取引所手數料倍額値上げの認可されしやの噂を傳へて漸々强氣となりて賣惜み傾向を來し本日迄には未だ商談の纏まりたるものを聞かざりしが仁川方面は稍々五枚の商内乍らも本日百六圓にて取引を見たる由なるが後氣配は十圓以下にては到底手に入り難き形勢を示しつゝあるもの如し

▲仁川は依然强硬　此頃期米の保合にて商内も遠く市場の活氣振はざりしかは自然仁取株の强氣筋も買ひ見送りて伸悩み百三圓見當にて賣物現れしが今朝又復人氣復活して來月從日手數料倍增に付六圓に許可されし噂にて强氣筋は猛烈に買進み百五圓より七圓見當を唱へつゝあるが賣物乏しく閑相内なるも百六圓にて五枚程商談行はれしが尙後高見越なるが如し

▲本日の諸内株

▲郵船二百六十五圓にて百五十枚同新百二十圓にて百枚▲大新三百三十六圓にて五十枚▲東新二百十五圓にて五十枚▲正金新三百八十圓にて三十枚▲東洋汽船新四十四圓にて二十枚京電新二十圓五十錢にて百枚

肥料石炭　精米石粉
京城本町二ノ九　電話二〇五四番　大正石粉工業株式會社

郵船株 ▲北濱たより

鐘紡に代つて市場の中心株たらんとする郵船は本場東に先物二百七十圓の新高値に突進し新株も百二十七圓九十錢と付け尤も市場全般の氣配より云へば形勢侮るべからざる概を示せり先頭の鐘紡に力の衰へたる事及び大株も目先氣草臥れの觀あり且つ昨今の商勢は兎角チャブ付き易い

米況

◎大阪期米特電

▲十六日前場　中限寄付　三十七圓三十七錢　日後場

●十六日前場

	前場	後場
寄付	三五、一六	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

◎神戸期米特電

●十六日前場

	前場	後場
寄付	三五、四五	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

◎下關期米特電

▲十六日前場（雨）

	當限	中限	先限
寄附	三七、五四	三七、四九	三五、八九
高値	三七、八〇	三七、六〇	三六、〇〇
安値	三七、五四	三七、四五	三五、七九
止め	三七、七五	……	三五、八三

仁川期米

▲十六日前場（下放れ）

今朝天候並天各地入電未著なるも昨日大阪の正米安を移して人氣安く立會は當中出來不申先三十六丁安に寄付き二十三錢追撃されしも押目は硬派好く三十錢と盛返し大買進み三十錢より五錢引混戰を演じ五錢引

▲第二節　當中出來不申先三十三錢より二十八錢と押し押目は買物あり三十二錢と引返したるも商物多く二十九錢と押し引

▲第三節　大阪前場の當出來不申中三十七圓三十七錢先三十五圓十六錢と八錢の盛返しを移して人氣強く三十四錢より六錢と跳返したるが高値は賣物ありて三四錢を採合ひ五錢と引

▲第四節　先三十六錢より買物多く四十一錢と盛返し三十九錢と持合ひに引

▲第五節　四十錢より三十九錢を採合ひたるが㋭全好く買進み四十七錢と反撥し偏硬の散會を告たり人氣は買偏傾となりマバラ筋好く買向ふ爲め大阪の割に下げ澁り三十七圓三十錢より二十五錢と醜込まれしも各店好く買進み四十七錢と反撥せり何分にも米の高移りに買物現はれ來る傾向なると外米産地の暴騰を傳ふる一面內地筋の鮮米に對する買氣旺盛にて眼先地場正米と呼應して今一段の高値を演出せんかの氣勢なり

昨後場より今前場迄の各仲買店賣買高差引尻　▲買㋖三、五五〇　㋑一、五五〇▲　黑二、二五〇　▲㋱八五〇　▲角志　一五〇　▲買▲㊉三五〇▲㋣六、〇〇〇　▲㋭七一五〇▲全十二〇〇▲山サ　一二五〇

十六日前場	先限
寄付	三十七圓三十錢
高値	三十七圓四十七錢
安値	三十七圓二十五錢
止め	三十七圓四十七錢

◇出來高　七萬五千二百石

◇公定値段　一節　三十七圓三十錢　二節　三十七圓二十九錢　三節　三十七圓三十五錢　四節　三十七圓三十九錢　五節　三十七圓四十七錢

◇限入値段　三十七圓四十六錢

株式會社仁川米豆取引所仲買人
丘高田仲買店
仁川海岸町　五丁目
電話長三八一
電話長二一〇
電話長一一九

▲京城正米市場

本日は精米所の例休日なると雨天に商內皆無なりしか既報の如く鮮人思惑熱の盛んなるに加はへ休日前安移りの內地期米も今前場は却つて小高の報を入れたる外移出口白米再び好調を示し居れる爲め氣配は更に幾分高含みの模樣あり

▲白米引締まる

頃日來商談途切れの白米移出商談も各地の正米小締まりに連れ殆々照會入込み大阪沖著の四十四圓十錢處迄は進み口ある模樣なり殊に地場原料ヂリ〳〵引締まりの際にもあり市中卸値も今朝は二十錢高の四十一圓五六十錢唱へとなれり尙限先は白米の注文高みと原料氣配の强硬とを併つて多少の上値に進まん傾向あり

▲小賣白米値上げ

白米は卸値の引締まりによりて小賣値の現狀維持困難となりたれば十七日より五厘方を引上げ現金値一等米四十二錢五厘、二等米を四十二錢となすと同時に久敷同業組合の問題となり居りし懸賣り値段は自今現金より一錢高となすに決せり

南大門廻穀

金村	粉一七叺	水原	白一八九叺
南川	小豆五四叺	水原	糯四一叺
平澤	白米三九叺	新義州	白三三叺
平澤	玄米五〇叺	平澤	米四三叺

仁川米豆取引所仲買人
內海仲買店
電話長六一五・六三二武　電略〇ウ・〇又ハ〇ウ２

▲河筋物出廻增加

今春來雨量不足に內便稀れなりし漢江上流地方の穀物出廻り高は曾めて小額にて今日迄の京龍出廻高は例年に比し漸く三分の一內外なるべしとの噂さなりしが最近數度の降雨により河水著しく增量したると同時に産地持主は此處稍出しを急ぎ米豆の廻著頓に增加の傾向ありと雖も此頃漸く各集散市場の高氣配を耳にせし荷主の間に既に到ては既成行き處分を恐れて既にあつ著せるもの、荷役をも拒める風情にて兎角手放しを嫌らひ居る向きありと

市場雜觀

大阪電報の延著で閑から閑の人氣に迷はされ高いと云ふて買ひ付けば大阪後場は暴落で今朝は又々渺けに物に鶴立迷中は公定小口の安人氣で高場よりからん〳〵の拍子木で三十七圓三十錢より二十五錢と四十三丁と叩かれしも正米の氣丈を移して買物多く三十錢より六錢と盛返し㋮山サ団其他より好く買ひて仲悩みヂリ〳〵と二十八錢と下押せしが押目は㋭全好く買ひて大阪の定期高を移し三十六錢と跳返したる戻りは山サ㋭団好く賣りて仲悩み三十五六錢を保合ひしが內地當局の鮮米移出說を唱へ鮮人筋は好く買進みの振合ひて大阪安の割りに下澁り居るが內地の成行に依りては意外の暴落を演ずるならんと觀測せらるゝが久しく內部の都合上閉店の已むなきに立到りし角志仲買店も今前場より場裏に現はれ微笑を含み從前通營業致し候間皆樣宜敷御引立を願ふと云はぬばかりの顔付て氣勢よく賣買をなし居たり

▲挿秧略ぼ完了

過般の降雨により各地共に挿秧は殆んど完了せし[illegible]

▲仁川正米市場

期米高を移して賣氣を搬びしが昨今米市場は平澤三等物三十六錢見當を唱へ居るも[illegible]

▲釜山正米市場

內地期米十錢安にて市場は安保合三等神力三十七圓八十錢處にて二千叺の商內ありたり▲大豆は安保合京畿物十六圓、京釜物十六圓處にて八百叺出來せり

三品

◎大阪三品特電

◎十六日前場

限月	前場
六月限	四八七、五〇
七月限	……
八月限	……
九月限	……
十月限	……
十一月限	四六四、五〇

▲綿布依然見送り

昨日曜中の當綿布市況は前日大阪綿糸布高移りに人氣稍々人氣ひめしも支那排日の異行業の外に出先の行過ぎ思ひは自然買控を餘儀なからしめ依然十九圓九十錢乃至二十圓唱への處に賣るはずの商狀を持續し今朝も又[illegible]

雜報

連日の活況に引續き未だ買氣衰へず

目下の形勢にては先行一入好望ならむと思はる

▲二千四十圓見當相場

總督府入電H（十五日午後二時四十分來電）標準物の賣行なければ確も信州機械上一番格にて本日の見當相場二千四十圓と云ふ而かも米國向き注文纏り居る模樣あり

◎橫濱生絲相場

●支那粟莠持合

支那粟は地方滿腹の折柄農繁と眼先新麥の出廻りを控へ賣氣更に立たず氣配自ずと不勢に傾けるが投げ物一段落に加はへ産地高と米高による前途の需要見越し等に手持米筋の手堅さまゝ辛らく相場を下支へ居れり

●種油輸出頗挫予

過日暴騰を報せし種及白絞油に其後船腹の便を缺き歐州方面への積出し進捗せざるやにて此處七十錢方反落を傳へ豆油又同樣事情にて最近斤に付二錢方下落せり丈け今回高値當時に附隨せざりし當地は其の反落も格別影響なし

●揮發油持合ひ

揮發油は過般內地の値下げに連れて鮮內相場又幾分の影響あらんと期待せられしも內地値下げの因が大勢に伴ふものにあらずして內地油の對安賣に對する外油側の對抗策の結果にして鮮內に於ては運賃の關係上近來內地油の移入途絶し殆ど外油獨舞臺の今日にて內地と事情の異なり居れるだけに會社側は依然として手堅き態度を持し居れり

日本名刀傳　七十八

東京　田邊南龍講演

五郎正宗（四）

栖『ア、樣ですか、エ、宜しう御座んすこも御使御宅に上がつて御邪魔をして、無御迷惑だらうこ思ひます、叱言を言つても肯かないんです、彼奴は柔しくて何を叱言を言つても少しも怒らないです、朝も『五郎や』こ一言言ふこ直ぐ飛び起きます、他の小僧こ違つて、幾ら夜遅くなつても居睡りをしたことが無い、幾度使に遣つても、いやな面をしたことは有りませんから、私は目を懸けて居ますが、たッた一つ困ることは刀が好きで、御武家樣が御通りになるこ、ジロ／＼

ジロ／＼御腰の物を見て居ます、さうして始終お宅に參つてはお邪魔をして居るんです、桶の雛を叩かせれや『テーンカン、テーンカン、チンチロリン』こ言ひ續け、寢ても寢言に、テーンカン、テーンカンこ言つて居るんです、此間なんごは寢惚けて、夜半に飛起きていきなりテーンカン、テーンカンこ私の頭を打叩いたんで私は驚きましたよ、小僧、力があるので私の禿頭が腫れましたよ、ハヽヽヽ』行『ハアそれは面白い』栖『先生冗談言ちやァ不可ません、小僧に頭を擲られて瘤が出來たこ言ふのに、面白いなんテ、ちつこも面白いここは有りません、なんぼ餓鬼でも擲に障りましたよ』行『フーン、それぢやァ貰つても宜いか』栖『ね、宜う御座んす、御願ひ申しませう』行『親は何處に在るだね』栖『親無しッ子です、身寄親類、何も無しです』行『フーン、それは可哀さう

に、何處から雇つたんだね』栖『エ、半年ばかり前に小田原の道了樣に御詣りに行きまして、小田原の町の相撲屋さんへ泊つたところ、日那の話に此の五郎こ云ふ小僧が、三月あこに六十ばかりの爺さんこ二人で泊つた、こころが、其晩から爺さんが煩ひ付いて、三日ばかりの病氣で歿つた、それから葬儀を濟まして遣つたが、さて五郎の行處が無い、生れは上方の者だこ云ふだけで、身寄親類の無いこのこ、仕方がないから世話をして置くが、何處かへ奉公にでも遣りたいこの話、それから私も可哀

さうだこ思つて、家へ引取つて遣つたんです、引續いて使つて居るやうな譯です、考へて見れやァ可哀さうな奴ですよ』行『ホーウ、さうか、それは氣の毒だ』行光、懐の紙入から金子を出して紙に包み『太郎作さん、これは少いが小僧を連れて行く謝金……こ云ふ程でも無いがマア何こも付かずに取つ

北炭こはしが、なか／＼難しい、柔かい松の炭を使ひます」俗に鍛冶屋炭こ云ふ、柔かくしないこ鍛れの爲めに良くない、刃の附いた鐵を縦に正目なりに毀し、さうして小さく毀して行く、拙く毀すこ無駄が出て燃し悪い、炭こはしが出來るやうになれば鍛冶屋の小僧の一人前こしてある、五郎は器用な質で半月經たぬ中に立派に一人前の炭こはしが出來るやうになつた、他の職人は驚いた ○『器用な奴だなア……先生、五郎は一人前に炭が毀せるやうに成りました』行『さうか、三年四年居ても、質の悪い奴は無駄ばかり出して、炭も満足に毀せないのに、此奴は見所が有るなア、まア目を掛けて遣れ』○『ヘイ』

て置いて下さい』栖『イヽエ、そんな心配を爲すつちやァ可けません』行『それでも今まで食はせて置いた入費も掛つて居ようから、取つて置きなさい』栖『さうですか、それぢやァ御辭氣なしに頂戴いたします』戸外から歸つて來た五郎に話したところが飛上がつて喜んだ、其日から行光の家の弟子小僧こして置きました、即ち翌日は暗い中から起き、仕事場に行つて炭こはしをする、

▲朝鮮發賣元▼
松の賓千美
▲名產　明治屋▼

雨降りには
みのかさ
龍山三角地（電話六四八番）
金川商會

◎數十年經たる大豹を捕殺す
村民總がゝりで

慶北奉化郡春陽面（西碧里所在所を距る東方約十丁）の部落後方山麓に大豹一頭現はれ里民數十名は各自獲物を携へ之れを包圍したる處豹は狼狽して逃げ場を失ひ民家の炊事場に遁げ入りたるより直に門を閉し棍棒を以て頭部を亂打し遂に之を屠殺したるが此豹は數十年前を經たる雌の豹にして身長四尺餘重量七貫餘にして近來珍らしき獲物なりこ（大邱）

京城本町二丁目
野田時計鋪
（電話二八七番）

◎雲右衛門の篤志（公州）　二代目桃中軒雲右衛門浪花節一行は去る八九兩日公州錦江館に於て開演したるが聽衆無慮七百人に及び付けて見ざる盛況なりき一行は翌十日全州に向ひたるが雲右衛門は公州救療院に對し多くの金圓を寄贈したるこ由にて同院長は感謝状を送りたりこいふ

六月十八日

（舊）五月二十一日
木曜日▲かりとうし▲五黄
▲先勝▲軫▲あやふ

▼五黄▲周圍に氣を配るべき日也
▼六白▲幸運なる日にして或は目上の引立を受くるやも知れざる日
▼七赤▲福利の集まる日にして思ひ立ちたることは進んで行ふべし
▼八白▲齒切れの好き樣な日にてすら／＼こ物ごこの運び早からん
▼九紫▲賑やかなる愉快なる日にして大小なりこ何か喜び事あらん
▼一白▲先づ骨折甲斐のなき日也
▼二黒▲纏りの早き日にして、共同事業には殊に成功すべき日なり
▼三碧▲結構な芽出度き日にして或は目上の引立てあるやも知れず
▼四綠▲優遇を受くる日にて理想通りに物ごこの好く纏るべき日也

演藝案内

浪花館
京城明治町　電話二六〇
●代の斯界の雄■中一行名人揃
▲いよ六月十二日より（午後六ヶ時開演）
▲荒木又右衛門
▲塙政力士傳
▲左甚五郎
▲幾烈百傑
▲水府老公
▲軍事探偵
▲錦士傳
橘雲平　橘□大　京山□大像　天中軒雲洲　桃中軒福助　橘雲平

大正館
櫻井町　電話八七三
▼來る六月十二日より特別大興行
不景氣の御挨拶として入場料金
◎夜の水の都
ミスキーストン會社秀作
ニコ／＼危い航海（全二巻）
◆大活劇　米國ヴァイタグラフ社特作
『間牒の死』（全五巻）
◆日活新派大悲劇『俠艷錄』大判報
◎今回に限り……

壽館
本町二丁目　電話一〇五〇
▲來る六月十三日午後五時より開演　浪界の巨將桃中軒雲右衛門一行
▲建久曾我傳（十六日）
▲ロンドン土産
▲放シ鳥
▲忠孝美談
▲力士芸道
▲一休禅師
▲赤穗義士
▲水府老公
桃中軒雲右衛門

壽座
京城本町　電話五七八
▲鶯ト油揚　三場
▲眞情　一場
▲目なし鳥　二場
▲親の罪　三場
▲サッポロビール會社大々的後援

◎連夜滿員御禮
於壽館
雷後援會

喜樂館
本町一丁目　電話九七番
▲來る六月拾三日より特別大作品提供
ニコ／＼活劇
宿怨
中山安兵衛一代記（全七巻）

黄金館
電話三六六・三六七

◆旭權九郎
◆露の若草
◆覆面の呪

わきが
人から嫌はれる
◎根本的なほせ

◎不思議になほる
あざ　ソバカス　ほくろ　イレズミ

たしかに……
利益のある……
米國式呉服や

コレカラ獨立する青年諸君の本業こして農家商家、官吏、老人の副業こしてコレ程確で安全に儲かる商賣は外にない米國式新式販賣法……（□冊九十錢）

贊化病院
京城黄金町一丁目一四二番
內科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

下痢　腹痛に　健胃固腸丸

下痢病一切及び腹痛に用ひて効顯最も偉大なり
常に本劑を用ゆれば消化を助け腸胃を强健にし悪性の下痢病に罹る憂ひなし
定價（拾錢、廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓）
大阪市東區伏見町堺筋角
東京市日本橋區新乗物町
本舖　谷回春堂
各地藥店に販賣す　商標ご名義に御注意

京釜線（南行）　同（北行）　釜山連絡　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　馬山線
[illegible]

京城日報

[illegible]綿絲も中途[illegible]の需用多く[illegible]つた今月木綿物觀が周圍けた高値
[illegible]一昨年の勃狂的市況に賜られたのこは違ひ需要ご供給が相伴なはぬ結果で
[illegible]三十八圓こ云ふ高値である東京出來半瓦斯上物三尺巾四十七ヤールで五月廿八日位なのが十二圓こなり大阪出來の並物瓦斯
[illegible]錢金巾四十五ヤール上物で十六圓七十錢したものが十七圓八十錢こなり二尺巾二十四ヤールの
[illegible]十錢だ手拭地用の木綿も一圓位なのが一圓卅錢こなつた之は生地の問屋相塲であるが是れに加工費や
[illegible]穴理の爲めに品薄こなり又一方問屋側が仕入れ手控への爲め品拂底の所へ需要が多い結果今日の相塲

京城日報　鮮人登用の必要

朝鮮人に對する敎育の普及ご其の向上ごは、統治方針上最も重きを爲すものたるこご、更めて縷述を要せざる所なるが、今鮮人の實際を見るに、折角高等普通敎育を了へ、又は或種の專門敎育を卒業せるものも、其の學び得たる智識を實地に適用するの機會を得ず空しく不遇の嘆を漏らし、心中快々に堪へざるもの頗る多きが如し、是れ大いに憂ふべき狀態にして其不平の發露する所、時に常軌を逸するの行動に出づるを免れず。元來人を敎育して其智德を研かしむるとは、啻に其人の一身を淑くするに止らず、進みて國家社會に向つて貢獻する所あらしめんこの趣旨に出づるものにして、被敎育者其者も、自ら期待する所あるは論なし。然るに一たび學校の門を辭し、いざ是よりご云ふ場合に臨み、改めて世間を見渡すに、事は志ご全く相違し、いづれの方角に向つても、總て暗劍敵殺たらんか、壯士客氣の常こして、失望は直に不平に變じ、不平は一轉して反抗こなり、呪咀ご爲り、國を怨み、人を尤め、甚だしきは好亂の民こ爲る恐らしからず。古來支那及び歐洲各國に行はるる變亂の多くは是等の徒に依りて爆發せらるるを見る。察せずんばあるべからず。翻りて國家社會の上に就て之を見るも、多年心思を費して、折角仕揚げたる人物を、遊食無爲に其日を送らしむるが如きは、抑も自家經濟の甚だしきものにして、又人物經濟上の大損失たり。殊に新附の民に對する場合に在りては其の影響の更に大なるを思はざるべからず。

吾人の私かに聞く所に依れば、朝鮮總督府は大いに此點に考慮する所あり、鮮人中の材物を拔擢し之を適所に使用するの方針を定め將に之を實行せんこするの機に臨み、たまたま騷擾の勃發するあり其まゝ沙汰止みこ爲りたる姿なりこいふ。是れ實に遺憾千萬のことにして、實をいへば彼の騷擾に際し、知識階級の之に參加せるものあるは、亦其の不遇不平に出づるもの多しこいはざるべからず。今や、幸に騷擾も一應鎭靜に歸したる場合なれば、民心を新にする必要上よりも、是非前擧の方針を復活せられんこを希望せざるを得ず。而も人材登用は獨り官途のみにあらず、民間事業の著大に發達したる今日に於て、會社又は個人事業家の大なるものは、官邊より寧ろ人物を要求する事多し、吾人は是等の大會社、大事業家に向つて鮮人間の材物拔擢を要求せざるを得ず。而して既に之を採用する以上は、專ら其の人物ご材幹こを考量詮衡して、其の待遇を定め、妄りに內地人この間に差等を設けざらんことを望む。現行法令に於て件の差等の存するは總監時代に於る暫定的のものにして、之が更改の必要を認めあることは、當局者も既に言明する所なれば、民間に於ては今更其の既物に逆き測規を拒否する必要なきこ勿論なり。要するに鮮人を拔擢して、國家的に社會的に、或種の事業を擔當せしむることは同化主義を實行する上に就いて非常に有効なること疑ふべくもあらず。其上官憲的に鮮人の奉公心ご其の能力を長養練磨せしむるが故に鮮人をして將來日本帝國臣民こして恥かしからぬ地位に登すの最好階梯たるべきなり。

國際都市に就て（四）

法學博士　穗積重遠氏談

藝術中心には音樂館美術館の設備をなしそれから學問中心ご藝術中心この連絡をこる爲めに國際大學の設計を爲してゐる各國に於ける敎育は只單に自國の爲めの敎育であるが爲めに世界的即ち國際的の力が甚だ微弱であるこいふ點より考へて各國より學者を集合せしめ世界を世界こして研究せしめ國際生活上に貢獻せしめる目的に出たものである其他世界の輿論を支配せしむべく國際新聞を設立する計畫もある即ち各國の新聞は其國の輿論を支配するものであつて世界平和の爲めに貢獻する所果して如何許りであらうか只今一般人士は殆んご新聞に依つて敎育されてゐる以上自國のみの利益を中心こする新聞では果して世界平和の爲めに善き敎育をするこのみ思ふ事は出來ないそこで國際新聞に依つて世界的敎育をなし世界の輿論の中心にしたいこいふ目的である斯くして設置する國際都市は國際管理にするもよし將た自國の割讓を受くれば自國に委任するもよし只法律上に於る性質は他迄も中立地たる事は忘るべからざるものであつて所有權は即ち各國の共有こしても是等の處は絶對に中立を保證する以上差支はあるまい斯くして設置する都市の費用は幾許かご言へばアンダーゼン氏の發案に依れば優に五億弗を超過せずこいつてゐる五億弗こいへば實に這囘の戰亂に於ける各國の一週間分にも充たぬ戰費を以て斯かる都市を設置する事が出來るのであるそこでアンダーゼン氏はウイルソン氏に說いて曰く『今回の大戰は實に古今未曾有のものであつたそこで是れが記念碑を設立するこいふ心組で五億弗を以て國際都市の設置に幸ひに贊同せられたし』ご然しウイルソン氏は前述の如く是れに聽從しなかつたらしい國際都市!!正に夢の如き話でもある然し乍ら夢こしても決して凡夫の夢ではない智人の夢賢者の夢である而して其の根本に横はつてゐる思想こいふものは決して夢でなくて現實のものである。アンダーゼン氏は宗敎院設置の目的ご同じく世界を一箇國にせんこするの目的は全然あるのでない事は私こしても大に諒解して置き度い此點は宜敷く諒解して貰かなければならないものである而して此後に於る我等の問題は世界人類の問題は國家主義こ國際主義この調和に外ならぬのがあるこいふ事を等閑に附してはならない此して之れないこすれば這回の如き戰亂の慘禍は猶此の後再三味はなければなるまいこ思ふ即ち斯かる慘劇は猶此後幾度か繰り返さるゝであらう否必ず繰り返される事は疑はないそこで世界の人類は須らく愛國心に富まなければならないこいふ事は既に言を要せざる處であるまいが此愛國心に富むこ共に又國際心の養成に努めなければならぬ私はアンダーゼン氏の計畫に因つて深く〳〵此點に就て諸氏に警告するの機會を得た事を喜ぶものである凡そ世界に於て最も恐るべきものは個人主義である國家に於て最も忌むべきものは即ち個人主義である個人主義!!是れは絶對に排斥せざるべからざるものであると共に個國主義の排斥に努めなければならぬ眞の意義に於ける國際聯盟の實現に依つて始めて總ての人類は幸福を得る事が出來るのである以上我等は共同生活こいふ點に就て即ち一村一郡一都市に限らず總ての意味に於ける協同生活こいふ點に就て深く〳〵考慮しなければならない（完＝東京支局）

謠曲唄ひ方の基礎觀念に就て（下）

烏飛兎走生

二

我輩の此の稿は節付や、間拍子や、息継ぎや等に付いて彼此れいふの趣旨ではないが、節付は要するに文句を眞實に且つ音曲的に云ひ現はす爲めに故人が研究に研究を重ねて殘した一種の型である。古典的な謠曲に於てはもこより大いに型を尊重せねばならぬ。然し節を型の通りに謠了せるこいふ事が謠曲の最終の目標ではない『寄せては返る片雄波』こいふ文句を『よせては』こズカリご謠ひ、切り切らずに『かへす』ご緩く謠うて『片雄波』ご續けるのは何の爲めか、節付こしては只夫れ迄である。然しこの節付は海邊に打ち寄する波濤を眼前に彷彿ならしむる爲めの一の表現に過ぎぬ。文句に對する節付は一の形式に過ぎぬ。節付のみに拘泥し、節付のみを主眼こすることは謠曲其のもの、根本義を閑却し、之を死物扱するものである。古人の殘した節付は、勿論尊重せねばならぬ、然し同時に一こして無意味な節付のない事を了解せねばならぬ。要するに節付をスッカリ我々のものこして之に依て文句の眞實を表現し、一曲の眞を表現する事を心懸ねばならぬ。今一ツ突つ込で云へば調子も此眞實の爲の一の型である。春の趣の爲の調子、秋の趣の爲の調子、武者の爲の節付、美人の爲の節付、惡鬼の爲の調子、羅刹の爲の調子、喜怒哀樂の爲の節付、いづれが眞を表現する爲の典型に非ざるなきである。今の敎ふる者こ敎へらるゝものこが專ら節付けこ調子こ間拍子ご等にのみ沒頭するの傾きあるは我輩もこより其の道程こして必ずしも之れを非難するものではないが、然し同時に又我輩は何故に今一つ奧に潜む或るものをつかむ爲の努力に今少し親切であらぬかを怪しまねばならぬ。而して之が爲に最先には第一の要件こして發聲の研究に第二の要件こしては發音の研究に注意せねばならぬ事を云ひ度い。然し詮ずる所、これ等も亦節付や、調子や、拍子や、位取りや。緩急や、息繼ぎや等ご同じく各一個々々の手段工夫たるに過ぎぬ。最後に到達すべき唯一の狙ひ所は眞實に在る、今一度繰返して云へば眞實こは結局所謂『腹』こいふ事に歸着するであらう。左る名人が門弟に對して口癖のやうに『謠は唄はずに文句を謠へ』こ敎へたこ云ふのも是處である。謠方に付いては未だまだ云つて見たい多くのものがある。が、是處には謠方の狙ひ所に付いて我輩の意見を述べて見た許りである。（完）

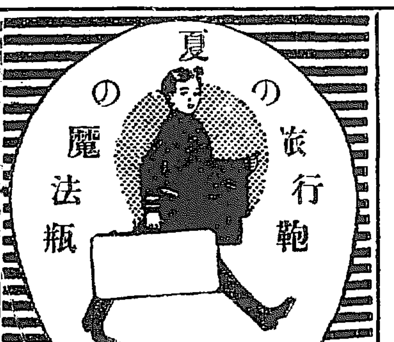
本紙定價　一ヶ月金七十五錢　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　[illegible]

講談雜誌
七月號　浴後…伊東深水
山田長政　講談　長田邊南龍
駿州の片田舍に生れた無名の一少年が身を孤舟に托して萬里の波濤を乘切つて暹羅國に渡り其名を海內に轟かした山田仁左衛門長政が其國民に善政を布き暹羅國の爲めに大氣焰を擧げる一席の快講談
風呂場の長兵衛…神田松鯉
落語　阿彌陀ヶ池　入船亭扇橋
長門と喜三郎　典山
松前屋と一心太助
江戸前の侠氣…寳道軒圓玉
當時天下の名奉行原伊豫守も娘の絆に絆なき松前屋を召捕つての捕門愛に出入の魚屋一心太助が義に組みして例の親分大久保彦左衛門老人を語らひ松前屋を救ひ出さんとする江戸前の侠氣…
木村重成の肌着　燕如
落語　安産　橘家圓藏
雷門炎上　酒井欣哉
捕物日記　拇指の青刺　馬場孤蝶
梅屋敷のお粂さんの不思議の死がお馴染の御用聞伴三郎の大活動によつて其巧みなる犯人が擧げられたが悔悟其の兄と云ふのが其實情夫であつた
落語　いよく蕎麥　三遊亭金馬
三日月おせん　淺黄頭巾
定價十八錢　税一錢　東京本町　博文館

活動寫眞
七月號百圓懸賞　毎號賣切れ!!スグ書店に行け!!!
活動評論
オペラ評論
東京下谷南稲荷町　振替東京四〇一八一
七月號高評　活動評論社

寫眞講談
七月號
表紙　太閤記十段目　三色版
（十次郎　光秀　初菊）
口繪　歌麿筆　艶美人
（繪画時價八百圓と稱す）
寫眞——附により本誌講談小說實演撮影、音羽、市川座、歌舞伎座五月興行、新富座等
幽靈講談
深川情話　六萬坪
おゑん稲荷
悲劇怪談　佃漁火
（演藝八ツ當り／あーら怨めし／首斬りの據談）…尺草　花崖　騎士
探偵實話　吾妻川…武田蠶堤
人情小說　女の思…北島春石
お殺し　秋田小僧…桃川若燕
湘南侠客　重太脫監…一立齋文車
明石情婦　夜嵐お絹…桃川燕
◎讀者文藝の課題及懸賞　◎お盆で一儲け（一口講談）…さくら　◎其の他興味記事例の如く滿載
見逃がし給ふな七月號、歌麿の美人だけでも大したもの、面白く誰にでも出來る懸賞新題、讀者優待法等あり、毎號好評
定價貳拾錢郵税一錢
東京株式會社　東光園　電話番町五六四　振替東京二三四
萬年筆ペン修理と販賣
振替一二二二　電話二五二七　京城本町　ウツボヤ書籍店

蚊帳　到着
近江特産（別仕立）
六八（一號　金九圓也　二號　金十圓也　三號　金十一圓也）　十七（一號　金十一圓五十錢　二號　金十三圓八十錢　三號　金十六圓）
本縣若柳特産（地絣附）
六八（金十六圓八十錢　金二十圓五十錢）　十七（金二十三圓五十錢　金二十九圓五十錢）
△子供蚊帳一張　金二圓八十錢
右の外縫目なし白蚊帳類種々取揃ひ申候
仙臺大町　藤崎呉服店　振替口座東京一七九〇番



旅行具専業の
岩田鞄店
京城本町二丁目（電話五九四番）

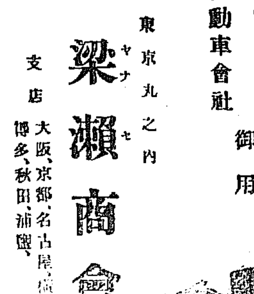
至急御知セ申上候
朝鮮總督府蔘精
着荷發賣仕候
注文は今！即刻也
朝鮮總督府蔘精
開城人蔘
人蔘製劑各種
貴生堂藥店
京城本町　電話一參八　振替京城一七六〇番

●鶏飼養奬勵●
收益多大産卵一ヶ年三百以上、孵化雛賣約、產卵前の雛、鶏、種卵、進物用食卵、白色系愛玩用種卵保險書付分讓　詳細五錢郵券送れ
京城南米倉町市場
岩城商會養鶏部

産出強大　期限正確
出荷敏速　應答晶落
（多少ニ不拘御用命願上候）
ハンマ柄各種、木槌各種、荷擔棒各種、スコツプシヨベル各式用一式、運搬用コロ各寸法品、ビータヒツク片鶴鍬、鋤運荷各種運搬用ロクロ窯、點碇用ローソク各種　其他木製及洋燈品一切製作販賣所
大阪市天滿橋筋四丁目電話東一五七三番
營業所　淀野卯之助商會木工部地方課
工場　大阪市天王寺南工場　大阪市東平野町上町工場
鐵工部　大阪市天滿橋筋四丁目　天滿橋工場

梅雨ノシーズン來ル
地方御一報次第見本贈呈

如何ナル大雨ニモ　絶體的安全ナル
ゴムラシヤレインコウト
多數品揃申候
晴雨兼用　クレバネツトラバー
十二圓
多數出來仕候
丁子屋洋服店

Clydesdale MOTOR LORRIES
クライズデール自動貨車
陸軍省、鐵道院御用
東京市街自動車會社
自動車　自動自轉車　各種附屬品　製作販賣
東京丸之內
梁瀨商會
支店　大阪、京都、名古屋、福岡、博多、秋田、浦鹽、


支店開設廣告
今般平壤驛前ニ支店設置致候ニ付テハ一層勉强御高需ニ應ズベク候間倍舊ノ御引立ノ程奉希上候
營業科目
鴨綠江材
豆滿江材
內地材
杉足塲丸太
須川材木店
本店　京城[illegible]
支店　平壤[illegible]
出張所　安東縣[illegible]

笹山章著
新案獨學イロハ辭典付
鮮語自在
ポケツト形二百頁　定價五十錢　送料貳錢
著者は鮮語界に於ける權威者[illegible]
好評三版出來
ウツボ屋書店發行
發賣元　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

◇牧野特使 四頭會議に列席

牧野男は四頭會議に列席する事となりたり四頭會議が男を同會議に列席せしむる決議を爲したるは全部の會議に全然同意を表するの機會を日本に與ふるの必要を感じたるに由るものなる可く同男が該會議に加はりたる結果對獨回答は全部各條項に就き再協議を爲す必要ありと豫期せらる（巴里電報）

◇獨の最後回答期

獨逸は二十一日迄に調印の意志を表明せざる可らず然らざれば聯合軍は二十二日より獨逸に向け進軍を開始す可し聯合國の獨逸に對する回答は十五日を期し獨逸講和委員長ランツァウ伯に交附さる可し（巴里電報）

◇對獨回答と修正

獨逸に對する回答に於て伊國はユーゴー、スラブがアドリアチック海問題の互讓案を拒絶したるにより倫敦協約を嚴重に履行せん事を要求したりと傳へらるライン河左岸及び戰時補償問題の修正は未解決なり（巴里電報）

◇オ政府承認條件 未だ公表の時機に非ず

オムスク政府某有力者談＝今回五大國よりオムスク政府に發したる公式文書はオムスク政府承認條件交渉開始の前提と見る可き者にて右承認條件はオムスク政府に於て大體承認したる筈なるも其詳細は戰術上の秘密に亘るが爲目下公表の時機に非ず公式文書交換の結果近く露國代表者は巴里財政會議に列し五億弗の爲替借款締結條件を審議するに決定し居るも聯合國が成る可く右借款に就きオムスク政府に對し經濟上の保障を要求せざる事を希望す尚同政府が五大國の公式承認を得たる上はサゾノフ、マクラコフ、ダヴィド氏等もコルチャック內閣に相當の椅子を占む可し（浦鹽電報）

◇周氏就任せん 前內閣は大部分留任か

徐總統は十五日周樹模氏を招き後繼內閣組織を委嘱せるが周氏一旦之を辭退せるも絶對に就任せずとの意を表明せず蓋し周氏は各方面の反對無きを見極め承諾す可く前閣員は大部分留任す可し要するに過渡期の短命內閣成立す可しと觀測さる（北京電報）

◇龔總理代理承諾

龔心湛氏は十四日國務總理代理に就任す可き旨徐總統に通告せり（北京電報）

◇英米秘密協約說

巴里にて英米兩國は支那に關する秘密協約を締結せりとの說あり米國は英國が西藏、甘肅、四川省に於る特殊の地位を認め英國は米國が西伯利鐵道を管理し外蒙古に鐵道を敷設し支那內地に於る事業の自由を認む可しと（巴里電報）

◎白國要求內容

最近の巴里電報は聯合國外相會議が和蘭に對しベルジュームに土地割讓を爲す必要無しとの決定を與へたりと報じ居れるが右に關しベルジューム側の說明する所に據ればベルジュームは何等和蘭に對し領土割讓を要求したるに非ずベルジュームの要請せんとする所は唯ベルジューム獨立を規定せる千八百三十九年の條約を改定しスケルト河の自由航行權並に同河地方防備に關する保障を得ること及びムーズ河に面する一帶の蘭領リンブルグ方面よりの攻擊を避け得可き適當なる保障を得ること而して一方アントワープよりメストレヒトを經てムーズ河に通ずる運河とリンブルグを通過してライン河に至る運河の開鑿權を得んとするに過ぎずと云ふ（東京）

◎武官總督と文官總督 福田參謀次長談

參謀次長福田雅太郎中將は來る十八九日頃下關發汽船にて西伯利視察の途に就く豫定なるが右に就き同中將は曰く

▲西伯利視察 は疾くより思ひ立つてゐたが遂に其機を得ず今日に至つたのである漸くにして今回寸閑を得又別に要用もあり十八九日頃下關發渡航しようと思ふ途中ポセットに廻航するを幸烏蘇里東の狀況をも視察しそれから滿洲に出るつもりだが用事の次第に依つては齊々哈爾迄行つて見ようと思つてゐる豫定は一箇月位だが歸りには是非朝鮮を通過するから先づ京城に下車し軍司令官の話でも聞いて來ようと思ふ朝鮮には大正四年以來渡鮮た事がないが其の以前には能く行つたものだ日露戰爭の當時等は鎭南浦に上陸して平壤から

▲義州の方に 隨行したが永く滯在した所はない知つてゐるのは京城位なものだが其の京城も通りがゝりに二三日滯在したといふ位な處で別に是といふ事を視察する暇はなかつたが今度渡鮮毎に朝鮮の發展は驚く許り眼に映ずる先般何か變な騷擾を惹起した樣だが是れが智識階級の者が騷擾を惹起したといふのならば相當に考慮を費す必要があるかも知れないが徒らに煽動されて騷擾を醸すといふ樣な無智の輩に對しては別に手段を講究する必要もないと思ふ夫につけ此頃武官總督が何うの文官總督が何うのといふ樣な說をチラホラ耳にするが元來我輩は軍閥なる語の出所が解らぬ武官總督だから必ずしも武斷的だ惡政を布くものだ文官總督だからデモクラシーだ善政を布くものだといふ理窟はあるまいと思ふ若し是れが文官總督にでもなつたならば朝鮮人は或る點に於て多少困る事があるかも知れぬ第一文官總督であつたら軍隊の權を兼有してゐないといふ丈でも不便を感ずるだらう無論文官總督となつたならば憲兵は廢しなければなるまい、さうなれば憲兵の代りに巡査の人員を增加しなければならぬといふ事は當然だが巡査となれば地方費で雇はなければならぬ國費だされば是れ丈でも大きな相違が生ずるわけだ地方費で斯うなつたならそれ等は一々朝鮮人の頭の上に懸つて來る又先日の騷擾の際でも武官總督なればこそ直ちに軍司令官に

▲命令が下せ たが是れが文官總督だつたら素破といふ時に軍司令官に相談をせねば兵を動かす事は出來ない文官總督となつたならこんな不自由がある許りでなく或る點に於ては四方八方に不自由を生ずる樣な事がありはしまいか倂しこんな事は只我々が心密に思つてゐるだけの事で何も別に意見として吐く譯ではない、だがこゝには憲兵補助員といふものがある或は此憲兵補助員が人々に反感を抱かす樣な事をしてゐないとも限らぬあれが身分のあるものが志望するといふのでもないやうだから或は往時の復仇といふ樣なつもりで洋刀で威張り散らすといふ樣な事も全然ないとも限らぬ併しこんな事等は別問題で又歸りには土產話も少しは出來るかも知れぬ（東京支局）

◎紐育株式立直 金融も漸く復舊

▲紐育組合銀行預金準備餘裕高三千七百萬弗貸出高五十億千四百萬弗全準備銀行割引及び貸出高二十億九百萬弗內紐育準備銀行分七億二千五百萬弗全準備銀行政府證券擔保貸出減額一億八千二萬百弗全保有高增額千四百萬弗なり

▲勝利公債及び六月三日發行の納稅用大藏省證券の拂込に依り前週一時騰貴したるコールマネーも翌日六パーセントに復歸し三箇月定期貸五パーセント四分の三商業手形割引日步五パーセント二分の一にして取引多からず會員銀行引受貿易手形三十日期限物四パーセント乃至四パーセント十六分の三を唱ふ

▲株式市場は日々の取引高百五十萬株內外あり相場區々なるも漸次立直りつゝありジョウジア中央鐵道會社社債八百萬弗期限十箇年利率六パーセント九十九弗にてクーンローブ商會より賣出し直ちに賣り切れたり其他規定發行社債價格も漸々作ら賣行宜しきも多くは個人投資家にて從來の大購入者たる保險會社貯蓄銀行は政府證券購入にて未だ十分餘裕なき爲め活氣に乏し外國爲替は英佛伊共概して持合なり（十日東京電）

◎對露貿易進展

去る三月中に於ける我國の對露輸出入貿易額は輸出總計一千二百二十八萬三千七百餘圓輸入三十九萬七千五百餘圓なるが之を前月に比較すれば輸出に於て四百五十六萬四千五百餘圓輸入に於て十五萬四千三百餘圓の何れも增加となれるが其の內十萬圓以上の品目を擧ぐれば左の如し（單位圓）

▲輸出の部

品名	金額
肌衣	三〇六、[illegible]四七
職[illegible]	七四七、一七八
洋服	一一五、六二三
印刷料紙	二八六、一五四
其他の紙	一〇二、八一六
金屬類	一四四、〇四六
藥材化學藥及製藥	一三三、五七一
綿縫絲	三〇二、〇三六
綿木綿	六三五、五五三
綾木綿	五三八、七七三
小倉織	四九一、四二六
綿縮	三二九、五〇三
生金巾及シーチング	二二五、四二五
晒金巾及シーチング	三七七、二三〇
更紗	五〇八、〇七九
天竺布	二二七、九二五
其他の綿織物	一、三八六、四六六
毛織物	一五七、一六五
鐵製品	一二二、七三六

▲輸入の部（一萬圓以上）

品名	金額
藥材化學藥及製藥	一九、六〇三
酒類	一二、六六七
木材	二〇、五六九
肥料	六七、九七〇

◎新航路と要望 ＝群山會議所の希望＝

群山商業會議所會頭大澤藤十郎氏は過般の臨時全鮮商業會議所聯合會にて決議せる朝鮮西海岸各港對神戶大阪間竝大連芝罘青島橫濱上海間釜山對神戶及び大阪間の命令航路に就き會議所を代表して其意見書を各方面に提出せしが第一項西海岸對神戶及大阪間第二項關門間の第二航路は孰れも又は船繰其他の都合上當分之を合併して一航路とせらるゝも支障なしと認む寄港地は之を釜山木浦群山仁川鎭南浦及龍岩浦とする外安東縣を加へ相互間に海運の便を開かれたき事釜山は從來他の各港に比し關門及阪神への船便多きのみならず今回新に釜山阪神間の航路を要望せる關係もあれば航路の船腹割當は釜山以外の各港を主とする樣命令ありたき事第三項西海岸對大連芝罘青島間航路は新に命令線を設くるか若くは從來の朝郵自營の仁川大連芝罘及び青島間の航路を命令航路に引直して之を鎭南浦群山木浦及び釜山第五項の

▲上海航路開始 の場合は釜山を除去するも差支なしに延長するか何れかの方法に依り是非共開始を希望するものなり第四項西海岸對橫濱間航路は其目的主として朝鮮米を東京方面に販路を擴張するに在るが故に米穀移出港たる鎭南浦仁川群山木浦釜山の各港に寄港せしむるを以て至當とす而して本航路は最近特に其必要を感ずるものあり即ち今回拓殖局が東京に於ける在米不足を補充する爲め朝鮮米買取の目的を以て汽船を特に航せしめんとするは其目的の米一揚の爲めにあらざる丈け他の耳目を聳動して米價不自然の騰貴を來す弊害あるも定期船の往復するに於ては斯る弊害を生ずることなきを得ん第五項西海岸各港對上海航路に就て過般の聯合會席上仁川商業會議所課長の間に對し

▲釜山委員 は縱令斷阪織布は犧牲とするも必要なりとの意味を答へたるも是れ朝鮮全般の利益を無視する說にして各地委員が強ひて其誤を訂さゞりしは當時の事情を察したるに外ならず釜山對上海の關係に就ては釜山委員によれば釜山より滿產物を輸出し上海より紡績原綿を輸入すと言ふも紡綿云々に至りては架空の說なり何となれば遠からず釜山に起るべき紡織工場の一ヶ年間所要原綿は綿約四百萬斤に過ぎず其內上海航路の輸入額二百萬斤即ち約千二百五十萬に止り殊に紡織會社は採算上の外より一時に[illegible]せず隨時に所要額を內地市場より移入すべしと豫想せらるゝ理由あり故に本航路の一局部に偏して多額の補助金を支出し他により以上必要なる

▲航路開始 を犧牲とする如きは朝鮮貿易全般の爲に斷じて採らざる所たるを信ず第六項釜山神戶及び大阪間本航路に就しては別に意見なきも他の航路と共に緩急を比較して取捨を望むと云々

◎最近の株式界 鮮滿關係株況

最近內地株式界の活動は實に眼覺しきものにて愈々戰後の大相場に踏入りたる觀あり殊に今回は日露戰後と異なり債務國より

▲一轉債權國 となりたる日本の資本家は投資物に窮し居る有樣なるを以て之等の資本は漸次有價證券に投ぜらるゝ傾向となり從つて株式界の好況を呈するに至りたるものならんか試みに東西兩市場を比較せんに大阪の卸屋式商內振りに對し東京は小賣り屋の傾向を帶び居れる觀あり何となれば大阪に於ては如何なる大口の商談にも易々として應ずるも東京に於ては七八百と少しく纏まりたる口は成立困難の風あり然れども小口は普遍的に行渡り居れば相當活況を呈し居れるものゝ如し目下の人氣株は大株同新、東株同新の如き其主なるものなるが之等は人氣關係に依る相場なれば無論利廻り等の採算は殆ど無視され居るが買氣の勃發すれば自然無い物高は免れざらん然らば健否注目すべきは之等人氣の中心は漸次鮮滿

▲殊に郵船株 に移動せんとする傾向なり何が故に郵船が買煽はるゝに至りたるかと云へば同株は他株に比し出遲れ居る事、紡に次ぐ堅實株なる事、海運界の前途立ち直り得る見込み付きたる事、前期に傭船料の損失として積立てたる千三百萬圓は其後海運界の恢復にて五六百萬圓の剩餘を來す模樣ある事、今期の成績は前期に比し一層良好を示すべき情況に在る事等を擧げ得べしと思ふ要するに刻下の形勢は彼の綿絲、生絲の大飛躍を移して株價も亦安値時代の倍價には奔騰すべく從つて日露戰後の大相場以上の新高値を出現すべき事は一般に觀測され居る有樣なれば先づ本年中は高値硬付買は多少の危險を伴はんも押し目は極力買方針が得策ならんと思惟す

▲鮮滿關係 株式の內地に於ける人氣の何なるかと云ふに滿鐵は遠からず鞍山製鐵所を獨立させ新に西伯利方面に事業を擴張を計るやの噂あり之等が事實とせば之亦現在の資本金にては不足を告ぐべければ增資は免れざらんされば相場を之して前株を子孫の爲に求むる風あり又東拓會社は最近滿蒙方面に活躍を初めたるも一部株主間には其發展の餘に急激なるを見て行過ぎ懸念を起し多少論議されたるやに聞けるが同社所有の地價は益々騰貴の傾向あるを以て其收益のみにても莫大なるものあれば之亦近く何等かの方法にて株主の增配を計るに至るべしと爲し人氣良好なり、殖產株は資本家の手に落ち付きて浮動株極めて少きが如きも買氣は相應にあり

▲朝鮮紡織 は未だ敷地の內定を見たるのみにて既に二十圓を唱ふる好人氣なるが這は一般紡績業の好況を移して朝鮮に於ける紡績唯一の事業たる事が最も人氣を呼べるものゝ如くこれが事業開始の曉は內地方面よりの買煽ひも現はれんかと思ふ云々（新田耕一氏談）

□下關支局披露宴 各地よりの祝辭祝電

本社下關支局開設披露の爲め十五日午後六時より春帆樓に於て關門兩地官民各階級の代表者五十餘名を招待し披露宴を催せしが開宴前別室に於て來賓に頒つべく特に伯爵李完用、金圭顧（雅號海岡）兩氏に執筆を請ひし數十幅の書畫を陳列して觀覽に供したり軈て席定まるや加藤本社長は藤村支配人及び梅谷下關支局長を隨へて一場の挨拶を述べ次いで來賓を代表して財部下關市會議長の答辭あり終つて宴に移り數十名の紅裙酒間を斡旋し酒客歡を盡して散會せるは夜十一時過ぎなりき因に當日忠淸北道長官張憲植氏を始め各地より祝辭祝電あり尙當市角輪組山上組其他より祝品の寄贈ありたるは特に本社の光榮とする所なり（下關特派員）

◇大西洋橫斷完成

英國飛行家ジョン、アルコック米國飛行家アーサーブラオン兩氏は大西洋橫斷飛行を終へ愛蘭に陸せり兩氏は十四日午後四時十三分ニユー、ファウンドランド島（加奈陀東方の英領）を發し十六時間にて大西洋橫斷を完成せり（倫敦電報）

◎化學工業延期許可

仁川辻川富藏、奥田貞次郎氏外十四名の發企に係る朝鮮化學工業株式會社は設立許可後種々の事情あり未だ成立の運びに至らざるが六月三日にて成立期限滿了となりたるを以て代表者より更に來る十二月三十日迄延期請願中の處去る三日附認可ありたり

◎兩隊新築起工式

龍山騎兵工兵兩隊にては十五日午後二時より何れも新築工事起工式を擧行したり

◎馬匹檢査

軍司令部參謀附足立砲兵大尉は富岡一等軍醫と共に釜山馬山地方に於ける將校の馬匹檢査の爲め十五日出張せり

◎送別會と記念品 京畿道

[illegible]入澤氏送別會と記念品贈呈並に京城府廳職員中有志は十七日午後四時半より京城俱樂部に於て入澤重麿氏送別會を開催すべく申込者既に二百餘名に達したる由なるが又別に記念品贈呈の催しあり希望の向は道廳へ直接申し込まれたし

◎小學校長鮮滿視察團

大阪小學校長鮮滿教育視察團土岐明治小學校長外七名は滿洲視察を了へ十四日入城十五、十六兩日市內の教育狀況視察の上十六日午後五時總督府茶話會に臨み十七日出發歸阪す

◎釜山ホテル增築

[illegible]の計畫ありし滿鐵京管局釜山停車場旅館は愈よ近く工事を實施する事となり右の爲め七月一日より當分臨時休業する事となれり

人事消息

▲渡邊彌次郞氏（大邱醫專士） 十六日夜入城不知火へ
▲松村良太郞氏 十六日夜離城

鳥瞰錄

慷慨悲憤が三度の飯より好物で學生を巧に煽動して政府乘取り策を計畫する支那の政治家は[illegible]悧巧である▲其の又悧巧な政治家を影からあやつつて居る臆面の策士と來たら一枚役者が上だ▲處が細工は粒々仕上げを御覽じろに至て稍當の外れ氣味なのはお氣の毒でもあるし又餘に手許が見え透いてをかしい▲一方には暴動的排日運動があるかと思ふと梅蘭芳が渡日各地で大入の味を占めたと聞いた支那俳優連中には己れも渡日して一と儲けと計畫中なのもあるとか▲流石に支那は大國である相互の伎倆勘定から打算する處は特に然りと云ふ觀がある▲露都モスコウでは棺桶の暴利取締令までが布告せられて居る▲伯林では盜品販賣の大市場が革命の產物として生れて居る▲近來の世相は我利を圖らぬ者は思ふに時代錯誤であると彼等は笑つて居るかも知れぬ、阿呆らしい▲廢物利用とは最も耳にタコの出る程聞き飽いた言葉だが芋の切ッ端を何にするとか、古下駄で細工をするなんて騷いで居ては未だく幼稚な者だ▲お婆さんが小さな片を集めて袖無し羽織を縫ふた方がずつと廢物利用になる▲窮して通ずるとは云ふもの、歐洲では苦し紛れに大分廢物利用が行はれて居る▲之も其一つで墺國では前帝フランツ、ヨセフの大銅像を鑄潰して貧民救助貨幣を製造して居る▲同國の窮狀もさる事乍ら廢物利用も此處まで行けば徹底至極である▲此筆法を擧ば、利用を待つ廢物は其處等にも隨分ある筈だ

仁川期米

十六日後場（上放れに後安）前場の氣先東京のメッキリ[illegible]ひしが引際角十店の猛烈賣叩きに高値摑みの投物現はれ八十錢より八十一錢と崩れ後場は[illegible]入れしが[illegible]

寄付	三十七圓八十錢
止め	三十七圓七十一錢
高値	三十八圓丁度
安値	三十七圓七十一錢
出來高	[illegible]

◎東京現株（電報）

十六日 [illegible]

◎大阪株式（電報）

十六日 [illegible]

銘柄			
大株	三五四、九〇	[illegible]	[illegible]
同新	三五四、八〇	三五四、六〇	[illegible]
東新	二六三、九〇	二六二、六〇	[illegible]
東紡	一五二、〇〇	一四九、九〇	[illegible]
[illegible]	[illegible]	一六五、〇〇	[illegible]

京城日報 廣告料 普通料金 四十錢 割引料金 廿五錢

商業登記
支配人選任、支配人ノ氏名住所開城郡松都面北本町參百貳番地 開城主人ノ氏名住所開城郡松都面滿月町八百七拾七番地開城電氣株式會社支配人ヲ置キタル場所開城郡松都面滿月町八百七拾七番地
右大正八年六月拾參日登記
京城地方法院 開城支廳

法人登記公告
原州金融組合登記事項目的第四號中組合員ノ爲メ其ノ生產物ヲ倉庫ニ保管シトアルヲ組合員ノ爲メニ其ノ生產物ヲ倉庫ニ保管シ又ハトアリ變更ス
右大正八年六月拾壹日登記
京城地方法院 原州支廳

法人登記公告
一、廣州金融組合登記（變更）監事李凌九、宋大鵬、尹相賢ハ任期滿了ノ處改選ノ結果大正八年五月貳拾七日何モ重任シタリ
右大正八年六月九日登記
京城地方法院 廣州出張所

一白生絹紗壹千尺
右購買ス詳細ハ六月十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

土地賣却公告
咸鏡北道羅南新市街停車場附近土地左記要項ニヨリ賣却ス
但シ詳細ハ咸鏡北道廳ニ就キ承合スヘシ
大正八年六月五日 咸鏡北道
記
一、賣却土地ノ面積 一七七〇〇坪 一筆面積百坪內外
二、入札保證金 見積價格ノ百分ノ五以上
三、代金ノ納付 契約締結ノ日ヨリ四十日間內
四、入札ノ日時及場所 大正八年六月二十五日ヨリ二十七日ノ三日間每日午前十一時 羅南面本町娛樂場

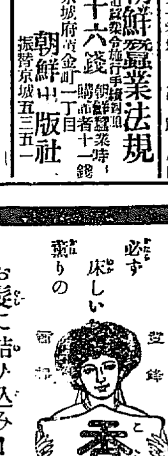
入札拂下
一發動船一隻 但附屬品共 十四馬力
右拂下ス詳細ハ十六日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正八年六月 李王職

公告
一當會社株式貳拾株ニ對スル第一回拂込金貳百五拾圓受領證第百四十六號所有者朴基順ヨリ紛失ノ旨届出有之候ニ付該株式ニ利害關係者ハ大正八年七月十七日迄ニ申出ナキトキハ該受領證ヲ無効ト可致此段公告候也
大正八年六月十七日 東洋畜產興業株式會社

拙者の舍弟[illegible]相年二十九歲は性浮浪にて各處に出沒し金錢を浪費し是迄で拙者の所有土地を典執或は放賣せんとするに付內外人は欺かるゝ勿れ玆に廣告す
高陽郡龍江面東幕下里五五一番地 高驥相 白

既刊 朝鮮蠶業法規 附各道蠶業令施行手續細則
特價十六錢 朝鮮蠶業時報讀者 十一錢
京城府黃金町一丁目 朝鮮出版社 振替京城五三五一

時計 眼鏡 製作 販賣 仁川本町 [illegible]商店



これからの外出の御裝ひには―
必ず床しい薫りの 登錄 香晶 結晶香水
お髮に結び込み！ 帶の間に お携ち遊ばすのが 第一條件
定價 金貳拾錢
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり
發賣元 大阪 東京 藤澤商店

發行所 京城本町二ウツボヤ書籍店 振京二貳貳參
再版 イロハ字典付 鮮語自在 定五十錢 送二錢
朝鮮 迷信と俗傳 定八十錢 送四錢
日鮮 文官・雇員・巡査 見習 試驗問題 定五十錢 送四錢
朝鮮 古錢價格圖鑑 定二十錢 送二錢
朝鮮肥料全書 定一圓八十錢 送八錢
朝鮮漢方藥料 植物調査書 定九十二錢 送四錢
再版 中學・女學 高等・商業 入學問答集 定五十錢 送四錢
鮮文 朝鮮採鑛寶鑑 定二圓 送八錢
發賣元 京城太平通 振京三〇〇 京城日報代理部

鐵道院技師 米國理學博士 阿部美樹志先生著 五版 鐵筋混凝土學 定價 五圓 送料 [illegible]
五版內容完備說明懇切構造設計施工の全般を網羅す
東京 丸善株式會社

木炭の半額であり頗る經濟な 卵形無煙煉炭
石炭代用として他に比類なき頗る經濟な ピッチ入卵形無煙煉炭
燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ
京城特約販賣所 京城太平通二丁目電話七二七番 西崎商會

…十八圓丁度と反撥せしが高値目先…賣落を反するならんとは市場一般の人氣なり
夜越取組高　一萬七千三百石

○アルサス見物記（二）

精巧を極めた天文用懸時計　約二百年間些の狂ひもない

本社特約員　上田碩三

町の詩は佛國の國歌が十八世紀の半ばに此の町の愛國者によりて初めて歌はれた事と宏大なる寺院である、殊に前者はローレン州が女傑ジャンダークを生んだのと共に佛國々民精神の發源地として並び稱せられる、ストラスブルグの寺院は一千年の昔シャーレマン王の命令により工を起して殆んど

▽二百年間の　佛國美術家の作を集めて其の完成を見たるもの其の宏大なる點に於てランスの寺院にも劣らない、町の中央に巍然として天空に聳ゆる尖塔は眞に天に達するかと思はれ、堂の內外にある彫刻や像は悉く其道に於ける曰く付きのもの就中其の宏大なる時計は普く世に知られ稱して天文用懸時計と云ふ幅約二間高さ五間に達するもの

▽時間及暦日　は素より日蝕、月蝕其の他天文の萬事を收めて此の一時計に表示されて居る、時間は十五分毎に『死』を表象せる人形の手を以て、一時間を『幼年』『青年』『成年』及び『老年』に四分して指し示す、同時に其傍に立つ守神の一人は鐘を叩く、而して同じく『死』の表象が時間を打つ時今一人の守神は其の手に捧ぐる『時の鏡』を開く、正午十二時を打つ時十二人の人形の使徒は時計の途上方に安置されて居る

▽救世主の下　の方に圓を描きつつ動き出て一々救世主の前に頭を下て行く、之に對し救世主は一々手を上げて彼等に幸福を與ふる、此の間一羽の雄鶏は羽ばたきしつつ三度さながら鶏の聲を立てゝ鳴く、堂內に集まる善男善女は此の時皆救世主の有難きを渇仰する、之を漫然と見れば一種の馬鹿臭い感はあるが時計の沿革を聞けば誠に

▽驚異の目を　張らざるを得ない、抑も此の時計の最初のものは一千三百五十二年ブチエツク僧…の下に逸名の美術家に依り二年の歳月を費して出來上がつたもの其後此の時計は一度動かなかつたのを一千五百四十七年ストラスブルグの市會は之が修繕を決議して同市大學の數學教授三名に誂したが遂に完成に至らず、更に一千五百七十年より四年の歳月を以て漸く修繕及び改良を終り其の約二百年時計は

▽些の狂ひも　なく時分を指したが一千七百八十九年に至つて再び其の動作を停止した、そこで市會は再び決議して修繕を託するに同じく同市大學の數學家シユヴイルゲ教授を以てした、教授は恰も三年五箇月の歳月を費して一千八百四十二年に改作を終つたのが即ち今日の時計で、爾來七十七年寸時の停止もなく正確に分時を刻み、其の他あらゆる天文の事象を指示して居る、誠に天下の珍と云ふべきである。

アルサスの少女　頭に大なるリボンを附す（上田特約員）

○死傷百數十名

横濱常設館の三階墜落す

横濱市松ケ枝町の相撲常設館に於て十五日日曜日活動寫眞興行中午後三時半突然轟然たる音響と共に同館南側三等席三階二等席二階墜落し死者三十名重傷者七十二名輕傷者五十名を出し阿鼻叫喚の聲悽慘を極めたるが慘死者森田伊吉の母雪は驚愕と悲嘆の餘り發狂せり（東京電報）

○羅馬尼皇太子自殺を謀る

脚部に負傷＝原因は戀愛問題

近く突飛の噂ありし羅馬尼皇太子は自殺を謀り脚部に負傷せり原因は無位無資産のランブリヤ孃との戀愛の爲なりとの噂あり（巴里電報）

○五千圓の慰藉料

電燈會社を相手取つて請求

龍山元町二丁目八番地永田乙吉は今回京城電氣株式會社を對手取り慰藉料五千圓請求の告訴を龍山憲兵分隊に提起したり今其事件の內容を聞くに乙吉の義母うめ（七十）は本年五月二十二日午前十一時二十分朝鮮銀行前停留場より乘車龍山岡崎町電車停留場に於て下車の際未だ全く下車し終らざるにも拘らず運轉手が發車せしめたる爲め其の反動にて電車に跳飛ばされ大腿骨を骨折し其他各所に打撲傷を受け全治迄に要する費用並に全治後に於いても其の不具者たらしめたる慰藉料五千圓猶今後全治迄に要する醫藥其他の雜費を支辨するは當然被告の負擔たるべしと云ふにあり鐵道病院井口醫員の診斷書に依ればうめの生命には別條なからむも治療中漸次肺炎を惹起する危險あり又大腿骨の骨折は治療するに二ケ月以上を要し左股關節部左肩脚部の疼痛は長く繼續すべしと

總督府技師時代の中村彥氏（記事參照）

○博士に推薦された

中村前總督府技師　朝鮮產業界の恩人

農學博士會では前朝鮮總督府技師中村彥氏を博士に推薦することに決定した、中村氏は東京の人明治元年生れ二十四年に東大農科を出で內地各縣の技師を經て三十九年朝鮮統監府農務課長となり翌四十年韓國政府農商工部農務局長に進んだが併合と同時に總督府勅任技師となり朝鮮農政の方針樹立に少からぬ功勞の有る人である。一昨年秋官を辭して歸東し間もなく朝鮮紡織株式會社の相談役となり今日に及んでをる。朝鮮農界の恩人として忘るべからざる人である

○殉職補助員の生れ代り

成長の上は必ず補助員にすると云ふ　感心な祖父

平安南道江西郡双龍面多足里朴昌熙（五十）は過般江西郡沙川の騷擾の爲め殉職せる憲兵補助員朴亮燮の祖父に當り以前面長を奉職せし者なるが過般長谷川總督及兒島總長より亮燮の殉職に對して下附されたる弔慰金賑恤金並に愛國婦人會員よりの弔慰金の交附を受け平壤分隊長宛に書面を以て亡子に對する過分の恩澤を陳謝したるが其後同地憲兵分隊長が管內巡視の際同家を慰問せるに恰も亮燮の妻女が男子を分娩せし頃とて一家非常に喜び亮燮の生れ代りなれば成長の上は必ず補助員と爲すべしと分隊長に語り且つ同十八歳になる亮燮の妹も次回の補助員には是非とも應募せしむべしと申し出でたりと云ふ

○省中唯一の外米通

「山憲」と綽名された運動家

妻女は某博士の令孃・

既報、山田技師の爲に慘殺せられた鈴木は目下百萬圓の財產を有し居る由なるも人格下劣にして横濱の貿業界には何等の人望なき由、又山田技師は新潟縣南蒲原郡中之島村出身、明治四十二年縣立長岡中學校卒業後、大正元年第四高等學校を了へ同五年帝大農科を優等で出た前途有望なる青年農學士にして農商務省に入りてよりは未だ二三年より經過せず妻女が某農學博士の令孃なるも正式に入籍しあらず犯行の當時は妻女を何處か外出せしめて家に置かず、全く書生三名と自分とのみなりし由、而して書生三名も既に收監されたり目下專ら辯護の首や手足の行方を探し居るもの、如し。山田は大學當時有名なる運動家にして野球のマネージャーたりしともあり、山憲々と仇名され

剛腹の男　なりし由又た農商務省に入りてよりは外米に對しては非常なる鑑識を有し外米買附ため原產地へ出張を命ぜられたること再度に及び出張中は自ら人夫に交りて外米の研究に努めたる程の熱心家なりしと（東京）

○一級俸の道長官は

年收七千六百圓になる

下級官吏は從前の通り　臨時手當支給規則改正さる

總督府並に所屬官署の在勤官吏に對しては臨時手當を支給することになり十六日附の官報を以て發布された、本來官吏は本俸と加俸を支給されるもの外に官舍に入らない者には相當の舍宅料が支給されて居るのであるが近來の

▽物價騰貴　で生活が困難だとあつて昨年から本俸二千二百以下の者に對し臨時手當が給與されてあつたが今回年俸七千五百圓迄の者に三割乃至五割迄の手當を出すことに改正されたのである今此改正された規則に據ると假りに一級俸の

▽道長官で　あると本俸四千五百圓に加俸が本俸の十分の四で一千八百圓夫れから今回新に支給せらる臨時手當が一千三百五十圓で合計が七千六百五十圓になる、二級俸の道長官だと本俸四千圓、加俸一千六百圓と今回の手當一千二百圓で合計六千八百圓支給されることになる、又

▽判任四級　の者だとすると本俸が五十五圓、加俸が三十三圓と從來なれば手當が十八圓で百六圓であつたが今回は手當の十八圓が二十七圓五十錢に改められるので百十五圓五十錢になるが官舍が支給されて居らぬ場合だとこれに十八圓の

▽舍宅料　が（判任官五級以上は十八圓以下は十四圓、高等官五等以上は二十八圓、以下は二十四圓）給與されて總計百卅三圓五十錢程の收入を得るのである

▽二十五圓　加俸が本俸の七割五分で十八圓七十五錢と從來の手當十五圓で五十八圓七十五錢であつたのが今回手當が十二圓に改められて三圓を減少する譯である然しながら本規則に『本俸手當、給料の月額四十圓未滿の判任官以下に支給する臨時手當額が從前の規定に依る臨時手當額より減少すべき場合に在りては即ち

▽從前の例　に依る』と規定されて形に於て減ずる者も從前の通り支給される事になつてをる何れにしても減らずに濟んだのだから結構な事だ。

が判任七級以下雇員等は今回の改正で反つて收入が減少することに成る、假に此處に判任十級の人が居るとすると其人は本俸が

○妻の死も知らず病床に

氣の毒な教師

市內中學洞十六番地三坂小學校訓導寺尾兵右衛門氏妻みどりは去月末發疹チブスに罹り乳飲み兒を夫兵右衛門氏に託して入院中兵右衛門氏も亦該病に冒されたので乳飲み兒を親戚の者に預け之れ亦同じ病院に入院し妻と壁一重を隔てた病室に病軀を横たへる事となつた然るに妻みどりは其後の病狀宜敷からず十五日朝遂に死亡して終つたので細雨咽ぶ十六日東本願寺に於いて哀しき葬送を營んだが夫兵右衛門氏に此悲痛なる事實を知らすれば益病勢が募る虞があるので一切を秘めて居る爲兵右衛門は愛妻の死は夢にも知らず時々其の病狀を尋ねて主治醫に同情の涙を絞らせて居るといふ事だ

○淑明女學校

定礎式　十六日午後擧行

淑明女學校にては、近來內容の充實と共に校舍の狹隘を感じ居たるに、本年宏大なる煉瓦造りの教場一棟を建築し又煉瓦造の二階建本館一棟の建築に着手し此の程基礎工事を完成し十六日午後二時より定礎式を擧行したり、當日は關學監長、金谷管理尹、遠藤校長、中村工學士其の他多數の來賓あり職員生徒一同列席松本幹事式辭を述べ同時に詳證、學務局長の祝辭に次ぎ生徒總代の祝辭、山野上教諭主任の挨拶あり次に建築現場に於て基礎石を一隅に据ゑ其式を終りたり

○騷擾入監者

約一萬に達す

三月一日騷擾勃發以來五月二十五日迄に至る全道入監者の數は九千五十九人にして內宗教を有する者三千五百七十三人無宗教者五千四百八十六人なり今之を各宗教別に見る時は天道教千三百六十三、耶蘇教三、侍天教五、大倧教四、儒教五五、佛教六五、淨土宗一、其他四十五教、監理教……一千四百四十一、安息教三、組合教會七以上以外のもの三派別不詳のもの七七なりとの事なり

○釜山の大相撲

千秋樂の勝負

十六日の釜山合併大相撲三日目は前日所報の如く天候兎角冴えざる爲客足は幾分鈍かりしが而も約二千五百名と云ふ可成りの入りを示し成功の裡に千秋樂を告げたり勝負左の如し

勝		負
南龍	（ひざつき）	大江嶽
光風	（引き落し）	瀧の海
高千鉾	（寄り切り）	西の森
逆常山	（寄り切り）	釋迦嶽
朝氏島	（肩すかし）	遂の矢
若都嶽	（ふみ切り）	五十嵐
綾川	（ひねり）	朝日嶽
源氏山	（上手投げ）	兩國
宇都宮	（吊り出し）	海山
一の山	（寄り切り）	稻の花
大門湊	（肩すかし）	大泉
常岩	（こて投げ）	柳
御西花	（吊り出し）	鳥海
大木山	（寄り切り）	對馬洋
柄錦	（ふみ切り）	大泉
高の山	（上手投げ）	大錦

本社釜山支局好み相撲一番は本社支局の好み相撲高の山大門岩に大泉は釜山日報の好取組にて銀盃は遂に大門岩に歸し又本社支局の好み相撲高の山對馬洋に…

女髮結競技大會

今十七日午前十時より午後五時まで本町一丁目喜樂館にて競技出場者約百人入場料を要せず參觀隨意歡迎す

主催　京城女髮結組合
後援　京城日報社

○轢死者を發見　十五日午前七時頃安州孟井里間にて三十五歲位の鮮人男一名轢死し居れるを巡回中の線路工夫發見し直ちに憲兵に屆出でたりと

○短歌會　京城短歌會にては廿二日午後一時より京城府倭城臺倶樂部樓上に於て短歌會を催す由なるが出席希望者は夏季雜詠三首を十八日迄に黄金町一の五廣田修宛に送附し會費五十錢を當日持參すべしと

演藝

▲樂燕來る　初代樂遊の實子にて其後の東家樂燕は一人者として名聲ある東家樂燕は目下大連に於いて興行中非常なる好評を博し居れるが來る十九日京城に乘込み來り二十日より向ふ一週間黄金館に出演する筈

▲壽座　柴島會文福一行十七日の替り狂言左の如し　△高い油揚△眞情△舊喜劇目なし島△親の罪

▲辯館　東洋軒市右衛門一行の浪花節にて毎夜札止の盛況

▼馬山の取組

大相撲一行は釜山打上げと共に後七時發列車にて馬山に向ひたるが同地に於る取組左の如し（參照）

（高の山　若常陸　一西の森）（朝千鳥　釋迦嶽　綾川）（逆の鉾　遂の矢　朝日嶽）（宇都宮　五十嵐　宮城山）（源氏山　知西山　鳥海）（福柳　海山　大門岩）（駒泉　兩國　大泉）（常の花　稻の花　栃木山）（旭日山　對馬洋　大錦）

○他人の旅費を

本籍京畿道…當時平壤府…町一四三建具職木田常次郎（五〇）は平壤兵器製造所雇員請負人梅崎猶吉に本年二月他九名の者と共に雇はれた者なるが本田外九名の京阪地方より平壤へ赴任の旅費として一人宛十八圓の約束なるを以て梅崎より十名分の旅費百八十圓を受け取りその儘着服し居る事發覺此程平壤署に告發さる

胃が丈夫

であれば、頭腦も明晰になる、膽力も强健になる、而して有らゆる活動にも堪へ得る樣に成る胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が合議して調製した、健胃劑中の王と云はる・胃活を服するに限る

胃病良藥

定價胃活壹圓、五十錢、三十錢、拾五錢　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　本舗大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

京日案內

市內在住者の御申込は代金不要…六回以上の御申込は特に割引のこと　御照會は返信用切手封入のこと　普通一行一回前金二十錢　番外一回前金二十錢

○うづら　改良市川系奈良鶉は鶉界の覇王第一飼育法の完備…奈良市井上町　市川鶉飼育研究所

看護婦及見習生入用　希望者は來談ありたし　仁川　小倉病院

○電話　○電話引當　○債券買入　勸業　京城光化門通　電一四四七番　坂本

○門生入用　十五六歲以下　市內に確實なる保證人を要す　希望者本人來談　京城黄金町　高等寫眞館

店員募集　材木に經驗ある店員五名入用につき希望者は自筆履歷書持參來店ありたし　京城岡崎町一〇番地　合名會社石崎商店京城支店

至急看護婦募集　希望の者至急本人來談　龍山元町一丁目　幾野病院

○不動產　管理、賣買、金融其他一般信託業　京城黄金町若草町通　電話九八八九　大島商會不動產信託部

白色ウズラ鳴鶉　優良親雛卵及鶉の飼料破格廉賣　仁川府本町四丁目　碧海園養鶉所

店員募集　希望者午後來店　新龍山電車終點前　龜屋雜貨店

故李太王殿下御嘉納品

○神經衰弱○精力減退○若衰○冷症○レウマチス○營養不良○肺病○ヒステリー○貧血○婦人病○心臟病○腎臟病○腦病○陰萎○胃腸病○慢性マラリヤ病等

十瓦入一圓五十錢　二十瓦入…　京城太平通一丁目　電話長六〇九番　京城日報代理部　振替京城三〇〇番　特約大阪賣店

外科　內科　皮膚科　徽毒科　京城旭町一丁目　電話二七三六番　島崎病院　院長正六位勳四等　島崎龍一

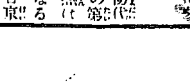
內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二二九・二七〇九番

久留米絣　絣の商標は井上お傳印に限ります（見本進呈）　縞の商標は天狗印に限ります　本社發賣の絣縞は各地到る處の呉服店にあり　御通知の節は男女別並に御年齡御申越の上御送料代金引替小包にて御送り致し升　久留米市通町　國武合名會社

男女生殖器病

發育不完全、包莖、陰萎、早漏、淋病、梅毒、子宮病、不姙症、こしけ等は專賣特許眞空療法器で日に見えて活す。ハガキで照會あれば圖入說明書無代封送す　東京神田カヂ町五　東京眞空療法研究所　電話神田七二一

酸素療器



オキシヘーラー

▽（邦文　支那譯文）實驗說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出でずして三乃至五目の血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十目の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる

▼靈妙なる磁氣應用の本器は斯くして血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强盛となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

▽特色　使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■　改正送料　內地金參拾六錢　支・朝・臺・樺金六拾五錢

東京市牛込區簞笥町三十一番地　オキシヘーラー獎勵會　電話番町特長三〇七四・六八九番　振替東京二七七一二番

特に　アルボースの必用時節　來る何人も日々使用を怠るべからず

みだれ咲き

第六十一回　島山碧波作　森田久畫

幽閉されて居た離れ座敷の押入を出た操子は、今しも花の家の女將お藤さ、醜婦お菊に連れられて母屋へ行く途中で、生命を賭して一散に逃け出した。

『あら此奴ッ……』

不意を喰つた女將のお藤は、其處へ跳掬くと同時に暗い庭を一散に追ひ掛けた。

『お菊、彼奴が逃げたから先き廻りをして堤へ行つてお呉れ』

『はい……』

醜婦お菊も跡から慌てたやうであつた。

『アレー誰れか助けて！……』

操子は大きな聲で救ひを求めたならば、必ず附近の人が出て來て助けて呉れるものと信じた。

『泥棒ッ……』

主婦のお藤は何と思つたのか賊と叫びながら後を追つた、が月夜なら兎も角雨の夜更けであるから幸か不幸か操子の姿を見失つてしまつた、

『畜生奴、到頭逃げてしまやがつたかしら』

主婦は足摺りして口惜しがつたが雨は益々激しくなるし、雷鳴さへ加はつて來た爲め、ブン／＼怒つて母屋の方へ戻つて來た、が一方の操子は朝から何にも口にせぬ爲め、一方ならず空腹を覺えて居るが、天の助けか虎口を脱し得た嬉しさの爲め何處と云ふ當ても無く一散に逃げ出したのであつた、一生懸命に歩いて居る裡には巡回の査公にでも逢ふであらうから、さうしたならば保護を依頼しようと思つて逃げ出して來たのであつた。

『さうだ……』

彼の女は巡査の保護を受ける時には忽ち廓へ照會される虞があつた、が其時こそ庭番次郎吉の爲めに誘拐されたことを訴へた後此の花の家が恐ろしい魔窟であることを其筋の人々に告げたら早稲田の廓へも大手を振つて歸られると思つた。

『夫よりも市川へ行つて見よう』

自分の後を追つて來る者がないのを確かめると、心に餘裕が出て來た操子は依然として實母初江の許を訪れようとして居る。

『おい何處へ行く？』

指れ違つた一人の男は、突然操子の片袖を掴んで言葉鋭く訊した、さうして彼の女が跣足のまゝで居るのに氣が付くと、

『お前は我家を逃げて來たのだなイヤサ俺の家から隙を見て逃げ出して來たんだな』

彼の女には依然として悲運が附き纏つて居た、虎狼の棲み家を脱し得て僅か三十分も經たぬ裡に、家へ戻る花の家の主人源助に押へられてしまつた。

『誰か來て下さいよ』

彼の女が救ひを求めようとして大きな聲を出すと、

『阿魔ッ、そんな聲を出すと生命が無いぞ』

護身用として肌身を離さずに持つて居る短刀の鞘拂ひがされた。

『おい、お前は俺の家へ歸るのが厭やなのだらう』

『……』

然りと云へば他へ連れて行かうと云ふのは火を睹るよりも明かである、さうして口にするさへ汚らはしい要求をされるのが歷然と判つて居る、彼の女は右の道を進まうとしても左の道へ避けようとしても大きな障害は横たはつて居るのだ。

『貴郎後生で御座います、薄命な女を一人お助け下さいまし』

彼の女は双の手を合せて源助の同情に訴へた。

『だから俺の家へ行つて客を取るのが厭やなら、他へ連れて行つてやらうと云ふのだ、なアおい俺が其程に云ふ親切が判らぬことは無からう』

猫撫聲を出した源助は、どうしても操子を此まゝ一人で遣らうとはしなかつた、一つ逃れてまた一つ、悲しい運命に弄ばれる操子はどうなるのであらう。

人蔘實母散
京城 朝鮮製藥合資會社
十五日分 金四十錢 … 金五圓

◎夏の髪の手入れ

＝植物性の油を選んで＝入れ毛に注意なさい

春から夏になると植物が繁茂する如く人間の頭髪も著しく多くなるもので此期間中は婦人は申すに及ばず男子方もよく衛生に注意して發育を保護しなければなりません、頭髪用の油は必ず

◇植物性の油を選んで決して礦物性の油は用ゐてはなりません。植物性油の中でも最もよろしいのは椿油で信用のある店から求めるに限ります次に夏期は最も頭髪が臭氣を發するものですから少くも月三回は髪を洗ふ樣に心掛け洗粉は矢張り植物性のものがよく椿の實のしぼり滓等は中でも最もよろしいのですが餘り多く無い樣ですから其代りに

◇布海苔 二枚位を溶いて其中に饂飩粉を適宜に入れてよくかき混ぜ其汁で髪を洗ひ十分に清水ですゝぎ最後に清水の中に油を三四滴注ぎ其中に頭髪を浸すと洗ひされた毛に光澤が出來て乾かして結ふ時には大變に持がよいのです又乾かす時は極炎暑の場合は陰干しにする事が大切です次に夏期の婦人の髪は入毛に注意しないと頭部に

◇痒味を生じたり大きなフケが澤山出て秋頃になると脱毛する憂ひがありますから此邊に注意して入毛の心は二三日經つたならば必ず解いて柔かにフワ／＼させ絶えず空氣の流通の好い樣に心掛け出來る事ならば毎日入毛を取換るのもよろしいでせう、又夏は油を澤山附けた日本髪よりも油氣の少いあつさりとした束髪の方が若い婦人には

◇相應しく殊に七分三分に小形に分けたのなどは外見もよろしく又自分でも氣持ちがよろしいものです只束髪でも心を餘り大きなものを入れると頭一ばいな嵩み結んでも鬱苦しい感をさせる巻方は感心出來ません前髪も鬢も嵩を全體をつめ加減にしてあつさりと結ぶに限ります

開店披露
大正軒
京城明治町二丁目（明治座横町）
石田旭花

新刊紹介

▼養鶏と園藝（六月號）養鶏飼料問題と其解決に就て、果樹と樹作、孵化と育雛の話、秋菊に就て、粉末鶏卵に就て等記事あり（二十錢、兵庫縣武庫郡鳴尾養鶏園發行）

▼ミツワ文庫（六月號）花柳病の話、難波橋心中、外遊半歳、女の一生さていろ／＼の趣味多き記事あり（十錢、東京市日本橋區橘町四の一五ミツワ文庫發行所）

▼新報知（六月號）家庭向きの便なる記事を收む、五錢、東京市京橋區西紺屋町三の廿、新報知社

▼臺灣教育（六月號）國民性の改造、教育の不徹底と濫用とに就て、小學校農業實習に就て、教授法の改良に就て等（十錢、臺灣總督府民政部學務部内臺灣教育會）

▼少年倶樂部（七月號）池邪の勇俠少年（西田壺陀）不始め醜の夢（佐藤春夫）空中の一機打（宮崎一雨）山の少年（平井晩村）魔の鐘（吉田絃二郎）城の崎十八番領（大河内翠山）等記事豐富なり（二十三錢東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會）

▼海國少年（七月號）金の鵄鳥（眼風）十五少年の漂流（富士川游人）最後の軍艦（松本長郎）翹慕加の話（袋井大朗）貴様は日本人だな（小倉愛星）等壯なる記事あり（廿錢東京市芝區渡邊町一〇三五海國少年社）

▼飛行少年（七月號）赤城の哀（菅本雲村）いろは小品（山村巨石）炎の山嶺（宮崎一雨）解かれし謎（平尾白露）悲しき日（野田虹牛）等（二十錢東京市京橋區本八丁堀二の一日本飛行研究會）

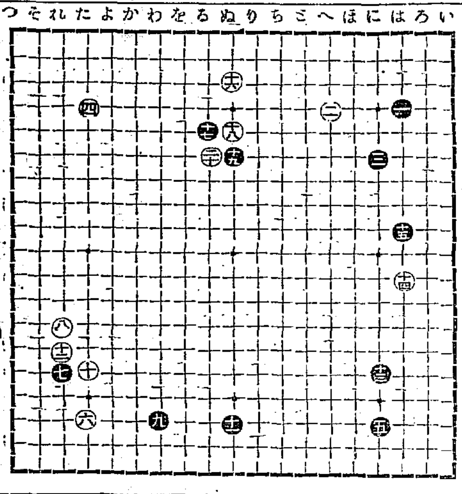
郵便の取扱方

…局所に調査方を請求せば其調査の如何の取扱になり居るかを回答して呉れます又手取り早く直に其郵便局所長へ……便局所長ですから遠慮なく何か不便の事があつたら掛けて問合せたら宜しいでせう……郵便局……ときは請求によりて運命を通知し……決して不當の……局長）[illegible]

（商中部）[illegible]

圍碁新局（一）

三段 田村善一郎
先 紀本龍太郎



●一 はの四	●五 にの十七	●九 わの十七	●十三 にの十五	●十七 るの五
○二 への四	○六 たの十七	○十 はの十五	○十四 たの十一	○十八 ぬの五
●三 にの六	●七 れの十五	●十一 への十七	●十五 はの九	●十九 ねの六
○四 たの四	○八 れの十三	○十二 ねの十四	○十六 わの十四	○二十 るの六

ライオン製粉兼挽割機
動力用各種手廻用
其他精米麥豆粟粉挽割麥パン粉きな粉製造用其他各地大高評東京本所長崎町三日本發明奬勵會

梅 毒 如神丸 治毒藥 豫防藥
本社は醫療部を設け本劑規定の三週間服藥若し全癒せざる場合は何等手數を要せず無代施療の責任を負ふ、遠隔の方には無料にて送藥す。
（價定）試用 四十錢　一週 六十五錢　半週 一圓二十錢　三週 三圓五十錢
他に送料内地十二錢其他は六十錢
●説明書御通知次第直送す
東京麴町區上六番町五六番地 香山製藥合資會社 振替東京四三九二五番
●梅毒有無診定
診察時間 當分の内毎週日、火、木、土午後五時より九時迄
診察無料 招魂社横停留場下車 香山製藥合資會社醫療部 電話九段三三二番

仁川本町 白神洋行
洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切
金物商
月刊物價表 御申越次第進呈
京城南門外 白神洋行支店 本町

各種硝子 小野玻璃器製造所
京城林町百六十二番地 電話二七九一番
弊工場製品は品質本位として鮮原料より製造せしものにて價格最も低廉なり

最新刊
國詩三百首講 金子大榮 一九〇
防貧と平瀬龍吉 八五
佛教概論 金子大榮 二五〇
實驗遺傳學 安部文夫譯 二八〇
女は泣いて居る 松崎天民 一四〇
赤い顔して女優を待つ 他見男七 一五〇
愛兒珠と愛兒の教育 諸口 一八〇
二葉亭全集 第三卷 一八〇
高三年 本多秋湖 六〇
哀傷は貴人の母也 三〇
金澤博士校閲 鮮滿國語大辭典 特價四圓三十錢 送料三十六錢
榮華の鏡 河村九淵 三〇
西洋料理法 赤堀峯吉 六〇
京城本町一丁目 大阪屋號 電話六八八番 振替京城二五七番

特に七人の博士が口を揃へて
卓越せる葡萄酒として推奬された
美味滋養の
赤玉ポートワイン

朝夕の一杯は百薬に優る赤玉

強壯な方も
虚弱な方も
一杯飲めば愉快になつて食物が進み血液の循環が良くなり胃が活動する、血は増し肉は肥わ神經性の病氣は拭いた樣に癒る虚弱の方が赤玉ポートワインで健康を得られると同時に丈夫な方は數倍の活動が出來る樣になります。
常に虚弱を嘆つ方、更に元氣を欲する方は赤玉ポートワインを召上れ眞に朝夕の一杯は百薬に優る事を認められます。

大阪商船出帆
（仁川出帆）
大阪行 △安東丸 六月十八日正午出 ▲信濃川丸 六月十七日正午出
（元山出帆）
浦潮行 ●安平丸 六月二十日後十二時 釜山、門司、宇品、大阪行 ●安平丸 六月廿六日後九時出
（大連出帆）
上海、基隆行 ●基隆丸 七月一日前六時出 ●湖北丸 六月廿六日後六時出
内地各港出帆日、各港所
歐洲行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 濠洲行 毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇番 二一〇番 五〇番
京城代理店 電話七〇八番
日本郵船出帆
大連、天津、牛莊行
濟州丸 六月廿九日正午出帆
高砂丸 六月十九日正午出帆
相模丸 六月十日正午出帆
互光商會出帆廣告
元山、西湖、城津、清津行
第三吉丸 六月二十二日 元山發
第三吉丸 門司、宇品、大阪行 六月二十日 元山發
朝鮮郵船出帆
敦賀行 立神丸 六月十六日 清津發
浦汐行 越後丸 六月十七日 元山發
雄基行 京畿丸 雄基丸 元山發
鏡城丸 六月 日 元山發
大阪行 越後丸 六月 日 釜山發
關門行 平壌丸 咸鏡丸 六月十六日 六月十九日 元山發
鬱陵島行 釜山發
濟州島行
木浦行 順天丸 六月
多島海行 金海丸 六月
木浦行 全州丸 六月
鎮南浦行 晋州丸 六月十六日
大連、青島行 江原丸 六月
本社 京城南大門通 電話二一九五
其他各寄港地ニ請名取扱店